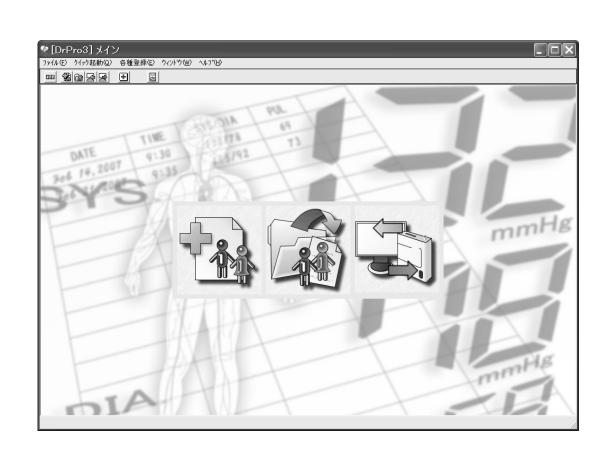
TM-9503

# 血圧データ解析ソフト（Windows 版）

# Doctor Pro 3

# 取扱説明書

1WMPD4001728 0805

**ご注意**

（１）　本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。

（２）　本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

（３）　本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。

（４）　当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、（３）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

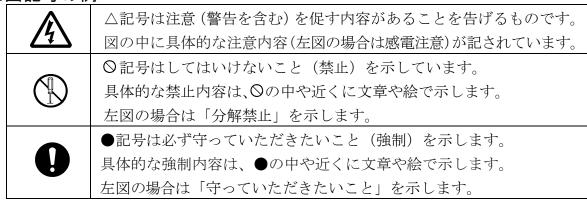
# 注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

## ■警告サインの意味

| | |
|---|---|
| ⚠危険 | この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。 |
| ⚠警告 | この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。 |
| ⚠注意 | この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。 |

## ■図記号の例

| | |
|---|---|
| | △記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。<br>図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が記されています。 |
| | ⃠記号はしてはいけないこと（禁止）を示しています。<br>具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文章や絵で示します。<br>左図の場合は「分解禁止」を示します。 |
| | ●記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示します。<br>具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。<br>左図の場合は「守っていただきたいこと」を示します。 |

## ■その他

| | |
|---|---|
| お知らせ | 機器を操作するのに役立つ情報です。 |

この他にも個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

# ソフトウェア使用許諾契約

**ご使用する前に、下記の「ソフトウェア使用許諾契約書」を必ずお読みください。**

弊社では、お客様がインストールされる本ソフトウェアの使用に際し、下記のソフトウェア使用許諾契約を設けさせていただいております。お客様が下記契約の内容にご同意いただいた場合のみソフトウェアの使用を許諾しております。

**お客様がソフトウェアをインストール、複製、その他の方法で使用されたとき、この契約の内容にすべてご同意いただけたものとみなさせていただきます。**

この契約にご同意されない場合、弊社はお客様にこのソフトウェアのインストール、使用または複製のいずれも許諾できません。
お手数ではございますが、本ソフトウェアを使用される前に下記契約書を十分にお読みいただき、記載されている権利および義務をご理解の上ご使用ください。

## ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社エー・アンド・デイ(以下「弊社」といいます)は、この使用許諾契約書とともにお客様(以下「使用者」といいます)にご提供する契約ソフトウェアの使用に関して、以下の条項にもとづき許諾いたします。

### １．用語の定義

①契約ソフトウェア
契約ソフトウェアとは、このパッケージに含まれるマスターディスクを記憶媒体とする機械読取可能な形式でのプログラムおよびその使用方法などが記載された取扱説明書をいいます。

②使用
使用とは、使用者が契約ソフトウェアを記憶媒体から読み出すことをいいます。

③指定機械
指定機械とは、使用者が契約ソフトウェアを使用するために設置した１台のコンピュータをいいます。

④複製
複製とは、同一形式もしくは別形式の記憶媒体に契約ソフトウェアを複写再生することをいいます。

⑤改造
改造とは、契約ソフトウェアに修正、追加などをおこない、また契約ソフトウェアの全部もしくは一部を利用して別のソフトウェアを作成することをいいます。

## ２．使用権の許諾

(1)弊社は、使用者がこの契約の条項に従って契約ソフトウェアを使用することを許諾します。

(2)使用者は､契約ソフトウェアを 1 台の指定機械にインストールして使用することができます｡

(3)契約ソフトウェアの所有権は、弊社に留保されるものとします。

## ３．契約ソフトウェアの複製

使用者は、指定機械上での使用を目的とする契約ソフトウェアの指定機械への複製、およびバックアップのための複製を除き、契約ソフトウェアの複製をおこなうことはできません。

## ４．契約ソフトウェアの改造

使用者はいかなる理由においても契約ソフトウェアを改造、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。

## ５．知的財産権

契約ソフトウェアおよびそれを複製したものの著作権その他の知的財産権は、理由の如何に係わらず弊社もしくは契約ソフトウェアに記述された個人または法人に帰属いたします。使用者は、契約ソフトウェアおよびそれを複製したものから Copyright 等の注釈を取り除くことはできません。

## ６．使用者の再許諾、譲渡の禁止

使用者は、弊社の許可なく第三者に契約ソフトウェアおよびそれを複製したものの占有を移転し、または使用権を譲渡もしくは再許諾することはできません。

## ７．素材の著作権・使用権

素材(イメージファイル、記号など)の著作権・使用権は、契約ソフトウェアに準ずるものとします。

## ８．保証

契約ソフトウェアに関しては、以下の保証のみが適用されます。なお、この保証は日本国内のみにて有効なものとします。また、弊社は契約ソフトウェアに瑕疵がないことを保証するものではありません。

(1)契約ソフトウェアの CD-ROM その他の印刷物に物理的瑕疵があった場合、契約ソフトウェアをご購入になった日から 90 日以内に限り無償で交換もしくは修復させていただきます。

(2)上記の契約ソフトウェアの瑕疵が事故または故意もしくは過失､誤用その他弊社の責に帰さない理由により生じた場合は、その保証の責任を負いません。

(3)使用者が期待される効果を得るための契約ソフトウェアの選択、導入、使用および使用効果については、使用者の責任となります。
(4)弊社は、契約ソフトウェアについては瑕疵担保責任を負わないものとします。
(5)弊社は、使用者が契約ソフトウェアを使用することによって発生した直接的、間接的もしくは波及効果による損害、データ・プログラムその他の無体財産に関する損害、使用利益および得るべき利益の喪失等に対して一切責任を負わないものとします。

## ９．その他

(1)弊社は、いつでも契約ソフトウェアを更新でき、更新版の提供条件は弊社が定めます。
(2)弊社は、使用者へ事前の通知をおこなうことなくこの契約の内容およびその他の告知内容が適用されるものとし、当該変更がなされた場合、従前の契約内容および告知内容は無効となり、最新の契約内容および告知内容が適用されるものとします。
(3)この契約は、日本国法に準拠するものとします。

## １０．契約期間

①この契約は、使用者が契約ソフトウェアをインストールした時点で発効し、使用者が下記②または③により終了されるまで有効に存続します。
②お客様は契約ソフトウェア（そのバックアップコピーも含む）を廃棄し、且つインストール済みのすべての契約ソフトウェアを消去することにより本契約を終了させることができます。
③お客様が本契約のいづれかの条項に違反した場合、直ちに本契約は終了します。
④お客様は上記③による本契約の終了後直ちに契約ソフトウェアを廃棄し、且つインストール済みのすべての契約ソフトウェアを消去するものとします。
⑤上記３条から 11 条までの規定は、本契約の終了後も効力を有するものとします。

## １１．契約終了後の義務

使用者は、この契約が終了したときは、使用者の責任において第三者が使用できない状態に契約ソフトウェアを破棄（使用者の指定機械上のメモリからの消却を含みます）するものとし、契約ソフトウェアを複製したもの、および契約ソフトウェアに関する一切の資料を破棄するものとします。

# 使用上（安全および危険防止）の注意事項

本ソフトウェアを正しく安全にご使用いただくために、以下の注意事項を熟読された上でお取り扱いください。ここに記載されている内容は、本ソフトウェアの安全な取り扱いの他、患者および操作者の安全についての一般的な事項をまとめたものです。また、接続する血圧計特有の注意事項については、それぞれの血圧計に付属の取扱説明書をご一読ください。

### １．本ソフトウェアの設置場所および保管場所は、次の点に注意してください。

| ⚠注意 | |
|---|---|
| ❗ | ■ 水のかからない場所。<br>■ 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない場所。<br>■ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などのない安定した場所。<br>■ 化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。<br>■ 設置：温度＋１０℃～＋４０℃、湿度３０％～８５％ＲＨ（結露なきこと）の場所。<br>■ 保管：温度－２０℃以下／＋５５℃以上、湿度９５％以上の場所に保管しないこと。 |

## ２．強い電磁波により誤動作を起こすことがありますので注意してください。

<table>
<tr><th colspan="2">⚠注意</th></tr>
<tr><td></td><td>

■ 他の機器からの電磁干渉を防ぐため、本ソフトウェアをインストールしたパーソナルコンピュータ（以下 PC）の近傍に携帯電話等を近づけないでください。

■ 本ソフトウェアは、周囲に強い電磁波などが存在すると、誤動作を起こすことがあります。本ソフトウェアの使用中、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。

次に一般的な原因と対策の一例をあげます。

■ 携帯電話等の使用

電波によって予期せぬ誤動作をする可能性があります。

・医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器などの電源を切るよう指導する。

■ 電源コンセントを伝わって、他の機器から PC に高周波雑音が入った場合

・雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置などにより対策する。

・雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。

・他の電源コンセントから電源を取る。

■ 落雷などによる影響

・近くで雷が発生したときは、過大な電圧が PC に誘導されることがあります。このような場合は、無停電電源装置（JIS T0601-1 を満足している機種）を使用して PC を動作させてください。

</td></tr>
</table>

## ３．環境保護

<table>
<tr><th colspan="2">⚠注意</th></tr>
<tr><td></td><td>■ CD-ROM、接続ケーブルおよび梱包材は、各自治体の指導に従って廃棄してください。</td></tr>
</table>

# 安全測定のための警告および注意

測定およびソフトウェアの利用に関する警告および注意事項を記載します。

## １．血圧測定

<table>
<tr><th colspan="2">⚠警告</th></tr>
<tr><td></td><td>■ 血圧計がコンピュータに接続されている場合は、血圧計のカフを患者に装着しないでください。</td></tr>
</table>

| お知らせ |
| --- |
| ■ 各血圧計の操作方法および注意事項に関しては、それぞれ血圧計に付属している取扱説明書をご一読ください。 |

# 開梱

## お知らせ

■ 本製品は、輸送中の損傷を防ぐため特別に設計された梱包箱に入れて出荷されていますが、開梱時には製品が損傷していないかご確認ください。万一損傷している場合には、販売店に連絡してください。

ご使用の前に付属品がそろっていること、本体と各付属品に損傷がないことを確認してください。万一、内容物に不足がございました場合には、お買い求め頂いた販売店または弊社にお問い合わせください。

同梱品
- CR-ROM（１枚）
- 通信用USBケーブル AX-KO3057-200（１本）
- 取扱説明書（本書１冊）

CD-ROM

通信用USBケーブル（AX-KO3057-200）

取扱説明書

# 目　次

# 1. はじめに

このたびは、エー・アンド・デイの血圧データ解析ソフト Doctor Pro3 をお買い求めいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、Doctor Pro3 の操作方法について記載されています。
本ソフトをご理解いただき、十分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られる所に大切に保管してください。

# 2. 特長

Doctor Pro3 は、血圧計の測定条件設定や収集した血圧データをパーソナルコンピュータに保存し、患者別に登録管理し解析できる Windows 版血圧解析アプリケーションソフトです。

Doctor Pro3 は、以下の各装置に使用できます。
・TM-2431　携帯型自動血圧計
・UA-767PC　通信機能付血圧計

Doctor Pro3 には、以下のような機能があります。

| | |
|---|---|
| 顧客管理 | 血圧データを顧客情報とともにパーソナルコンピュータのデータベースへ登録しグループ別に管理できます。 |
| 統計データ解析 | タブ切り替えで、全区間、区間解析、起床区間、睡眠区間の統計データを表示、解析します。 |
| グラフィックデータ | 最高血圧、最低血圧、平均血圧、脈拍データをグラフ表示し、データ中のパターンやトレンドが簡単にわかります。<br>24 時間以内のデータについて、24 時間コサイナー法による日内リズムと高血圧指標であるＨＢＩをグラフと数値にて表示します。 |
| データ変換 | 血圧、脈拍データを標準ファイル形式(CSV)でインポートまたはエクスポートできます。エクスポートしたデータは、市販のデータベースソフトで使用できます。 |
| レポート印刷 | 解析結果を多様な方式でレポート印刷します。まとめ印刷では必要な解析結果を選択してサマリーレポート印刷が可能です。<br>また、解析データを選別し基準値とともに印刷する 24 時間解析レポートが可能です。 |

# 3. 略語・記号の解説

本血圧データ解析ソフトには以下の用語・略語が使われています。

| 血圧に関する用語・略語 | 概説 |
|---|---|
| K 音：Korotkof | コロトコフ音法<br>コロトコフ音の検出による血圧判定法 |
| オシロ：Oscillometric | オシロメトリック法<br>カフ内脈圧の検出とその変動解析による血圧判定法 |
| SYSTOLIC, SYS, SBP ：Systolic Blood Pressure | 最高血圧（※収縮期血圧と同義） |
| DIASTOLIC, DIA, DBP ：Diastolic Blood Pressure | 最低血圧（※拡張期血圧と同義） |
| MAP：Mean Arterial Blood Pressure | 平均血圧　最高血圧・最低血圧による算出値<br>MAP=DIA+(SYS-DIA)/3 |
| PP: Pulse pressure | 脈圧　最高血圧と最低血圧の差 |
| PUL, PULSE：Pulse Rate | 脈拍数 |
| DP：Double Product | 心筋の酸素消費量を反映している。最高血圧・脈拍数による算出値<br>DP=SYS×PUL/1000 |
| BP：Blood Pressure | 血圧 |
| BPM：Blood Pressure Measurement | 血圧測定 |

| 統計処理に関する用語・略語 | 概説 |
|---|---|
| MEAN、m | 算術平均 |
| MAX | 最大値 |
| MIN | 最小値 |
| SD、s’ ：Standard Deviation | 標準偏差<br>サンプル ($X_1$, ...$X_n$)に対して<br>$[\sum_{i=1}^{n} (X_i-\overline{X})^2 / (n-1)]^{1/2}$<br>n：サンプル数、$\overline{X}$：算術平均値 |
| SE：Standard Error | 標準誤差<br>サンプル ($X_1$, ...$X_n$)に対して<br>$(SD^2/n)^{1/2}$ |
| CV：Coefficient of Variation | 変動係数<br>CD=SD/mean[%] |
| Correlation | 相関 |
| Correlation r：Coefficient of Correlation | 相関係数 |
| Regression Line | 回帰曲線 |
| Histogram | ヒストグラム |
| c.i. ：Confidence Interval | 信頼性区間<br>信頼限界に挟まれる区間 |

| 生体リズムに関する用語・略語 | 概説 |
| --- | --- |
| Cosinor | Halberg (1967)によって提唱されたサーカディアンリズムの解析法 |
| MESOR | 水準 |
| Amplitude | 振幅<br>生体リズムに最適に当てはめられた余弦曲線の振幅 |
| Acrophase | 頂点位相<br>生体リズムに最適に当てはめられた余弦曲線が最高値をとる位相 |
| Percent Rhythm | リズム適合性<br>実測値と予測値の相関係数の２乗 |

| その他の用語・略語 | 概説 |
| --- | --- |
| HBI：Hyperbaric Index | 高血圧指標 |
| Hypobaric Index | 低血圧指標 |
| Hyperbaric Area | 閾値を超えた血圧値の時間積分 |
| Hypobaric Area | 閾値より低い血圧値の時間積分 |
| HBI-sys | HBI に対する最高血圧の閾値 |
| HBI-dia | HBI に対する最低血圧の閾値 |
| F | 全区間解析 |
| P | 区間解析 |
| Approximate Curve | 近似曲線 |
| Fourier Series Expansion | フーリエ級数展開 |
| Order | フーリエ級数展開の次数 |
| 平均値トレンド | 血圧値の時間平均値のトレンド |

# 4. 仕様

## 4-1 動作環境

| | |
|---|---|
| コンピュータ | CPU ：Pentium III 1GHz 以上のマイクロプロセッサ内蔵のパーソナルコンピュータ |
| メモリ | 256MB 以上 |
| Operation System | Windows 2000 Professional または<br>Windows XP Professional / Home Edition<br>.NET Framework 1.1 以上<br>Windows 2000 Professional では MDAC 2.6 以上<br>※.NET 1.1 の動作環境は以下を参照してください。<br>http://www.microsoft.com/japan/msdn/netframework/productinfo/sysreqs/1_1.aspx<br>※.NET や MDAC はインストール CD に含まれています。 |
| グラフィックアダプタ | SVGA ビデオカード（256 色以上，800×600 ピクセル以上を推奨） |
| ディスク | CD ドライブ（同梱メディアに対応するドライブ） |
| ハードディスク | 1GB 以上の空き容量 |
| インターフェース | USB2.0 / 1.1 |
| ポート | USB A ソケット |
| プリンタ | Windows から印刷できるよう設定されていること |

| ⚠警告 | |
|---|---|
|  | ■ この製品に接続できるコンピュータは IEC60950 の安全要求に適合したコンピュータのみです。それ以外と接続した場合は安全を保障できません。 |

## 4-2 解析概要

携帯型血圧計 TM-2431 は、通常、24～72 時間という長時間にわたって患者の血圧を記録します。オシロメトリック法を用い、ユーザが設定した測定条件で血圧を測定します。
ユーザは、24 時間をいくつかの区間に分け、さらに各区間について OFF から 120 分の間で測定間隔の設定ができます。測定間隔は、患者の普段の生活ペースに合わせて設定すると便利です。

家庭用血圧計 UA-767PC の場合は長期（最大 12 ヶ月）のトレンドを表示させることができます。
旧バージョン（TM-2430-15）のデータとは直接の互換性はありませんが、インポート（ファイル取り込み）およびエクスポート（ファイル出力）することによってコンバート（データ変換）が可能です。

## 4-3 対象モデル

Doctor Pro3 は以下のモデルで使用できます。

### TM-2431

・血圧の治療や調査、研究などに有効な 24 時間の日常生活での血圧変動を測定、記憶します。
・約 220g の軽量、手のひらサイズ。
・血圧の日内変動を正確にキャッチします。

### UA-767PC

・測定データを 126 回分まで記憶します。
・時刻、カレンダー機能付。
・測定時刻を 1 日 6 つまでアラーム設定できます。
・血圧治療のモニタリング、薬効等の臨床試験、血圧に関する調査、在宅管理システムに利用できます。

# 5. 使用前の準備

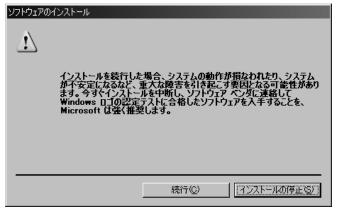
## 5-1 インストールの方法

Doctor Pro3 はハードディスクのみで動作します。

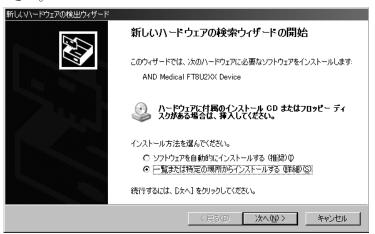
ハードディスクに Doctor Pro3 をインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. 同梱の CD-ROM をパーソナルコンピュータの CD ドライブに挿入します。
2. Windows のタスクバーの[スタート]をクリックし、[ファイル名を指定して実行]を選択します。 自動起動した場合は、4 項に進んでください。
3. 名前入力ボックスに g:setup と入力します。(g:は CD-ROM を挿入したドライブ番号)

（１）USB ドライバがインストールされていない場合は次のとおりになります。

[FTDI USB Device Driver セットアップ]をクリックしてください。

[続行]をクリックしてください。

付属の通信用 USB ケーブルをパーソナルコンピュータに接続してください。

（２）CD-ROM 内の「Driver」フォルダを指定して、ドライバをインストールしてください。

[次へ]をクリックしてください。

[続行]をクリックしてください

（３）正常にドライバをインストールした後[完了]をクリックしてください。

4.　次に Doctor Pro3 をインストールします。

[Doctor Pro3 セットアップ]をクリックしてください

5.　シリアル番号を入力してください。

シリアル番号は梱包箱、CD-ROM に記載してあります。

以降、画面の手順にそって、インストールをしてください。

5.　正常にインストールが終了したら、インストーラーを終了してください。

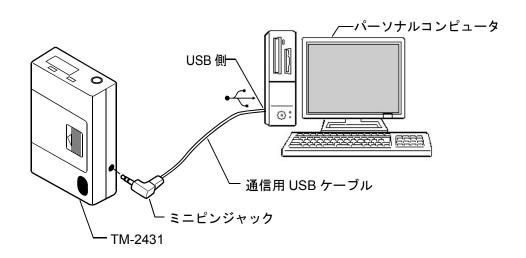
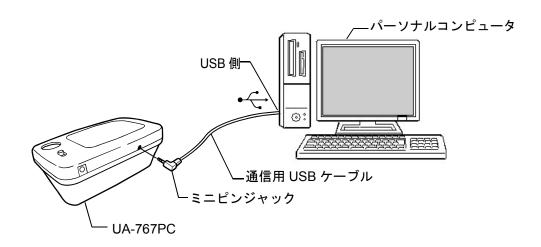
デスクトップに[DrPro3]のアイコンが表示されます。

## 5-2 血圧計とパーソナルコンピュータの接続

血圧計とパーソナルコンピュータを接続します。

| ⚠警告 | |
|---|---|
|  | ■ 血圧計がコンピュータに接続されている場合は、血圧計のカフを患者に装着しないでください。<br>■ この製品に接続できるコンピュータは IEC60950 の安全要求に適合したコンピュータのみです。それ以外と接続した場合は安全を保障できません。 |

### 5-2-1 血圧計 TM－2431 をコンピュータに接続する

必ず付属の通信用 USB ケーブル AX-K03057-200 を使って接続してください。他のケーブルを使用した場合は通信エラーが起こることがあります。

血圧計は以下の手順でコンピュータに接続してください。

1. 通信用 USB ケーブルのミニピンジャックを血圧計に挿入します。
2. 通信用 USB ケーブルの USB 側をコンピュータの USB 端子に挿入します。

**注意：通信ケーブルは接続したままにしておいてください。**

3. Doctor Pro3 を起動します。

## 5-2-2　血圧計 UA－767PC をコンピュータに接続する

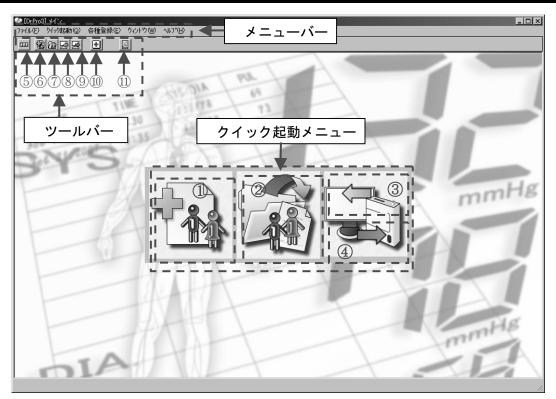
必ず付属の通信用 USB ケーブル AX- KO3057-200 を使って接続してください。他のケーブルを使用した場合は通信エラーが起こることがあります。

血圧計は以下の手順でコンピュータに接続してください。

1. 通信用 USB ケーブルのミニピンジャックを血圧計に挿入します。
2. 通信用 USB ケーブルの USB 側をコンピュータの USB 端子に挿入します。

   **注意：通信ケーブルは接続したままにしておいてください。**

3. Doctor Pro3 を起動します。

# 6. メイン画面各部の名称

クイック起動メニュー

| 番号 | 名称 | 説明 |
|---|---|---|
| ① | 新規患者登録 | 患者情報の登録画面へ移動します。 |
| ② | データ管理 | 患者の血圧測定データの管理画面へ移動します。 |
| ③ | データ受信 | 血圧計からの測定データの受信画面へ移動します。 |
| ④ | 設定の送信 | 血圧計への患者条件データの設定送信画面へ移動します。 |

メニューバー

| 名称 | 説明 |
|---|---|
| ファイル | 「インポート」、「エクスポート」、「DB 最適化」、「終了」の中から選択します。 |
| クイック起動 | クイック起動メニューと同じ選択が可能です。 |
| 各種登録 | 「病院情報」、「使用モード変更」、「使用アカウント登録」、「グラフ標準値設定」、「測定パターン設定」、「言語設定」の中から選択します。 |
| ウィンドウ | ウィンドウの表示方法を選択します。 |
| ヘルプ | バージョン情報を表示します。 |

ツールバー

| 番号 | 名称 | 説明 |
|---|---|---|
| ⑤ | クイック起動画面 ON/OFF | クイック起動画面の表示の ON/OFF をします。 |
| ⑥ | 新規患者登録 | ①と同様です。 |
| ⑦ | データ管理 | ②と同様です。 |
| ⑧ | データ受信 | ③と同様です。 |
| ⑨ | 設定の送信 | ④と同様です。 |
| ⑩ | 病院情報設定 | 「病院情報」の入力画面へ移動します。 |
| ⑪ | 24 時間解析レポート | 「24 時間解析レポートデータ選別」画面へ移動します。 |

# 7. 一般的な使い方

## 7-1 Doctor Pro3 を起動する

起動の手順

(1)　以下のいずれかの方法で起動します。

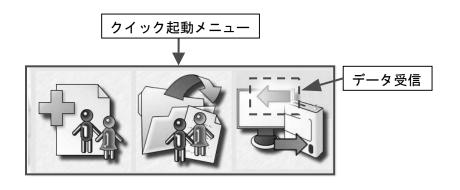
・スタートメニューから「DrPro3」をクリックします。

・デスクトップから[DrPro3]のアイコンをクリックします。

(2)　メイン画面が表示されます。

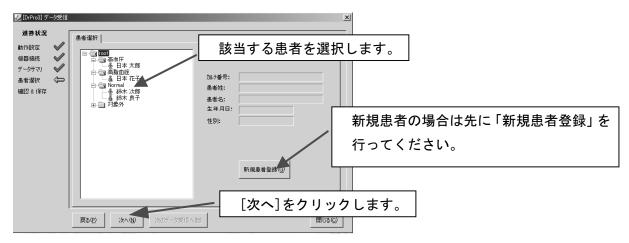
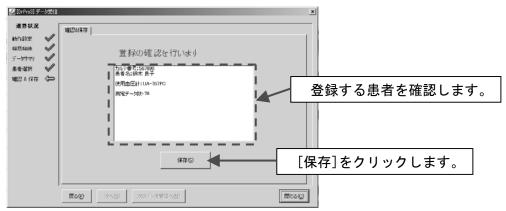
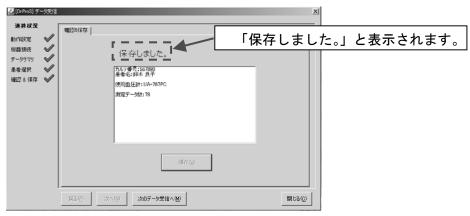
## 7-2 データを受信する

測定データを血圧計からパーソナルコンピュータに取り込みます。

（詳しくは「10.　データ受信」を参照してください。）

(1)　「クイック起動メニュー」の「データ受信」をクリックします。

## 7-3 患者を選択/登録する

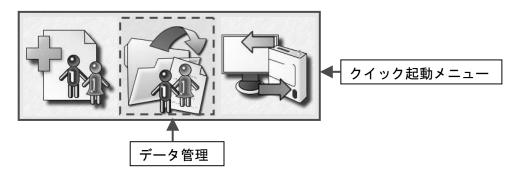
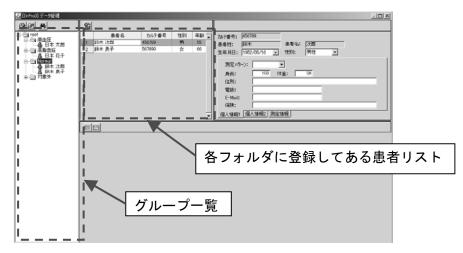
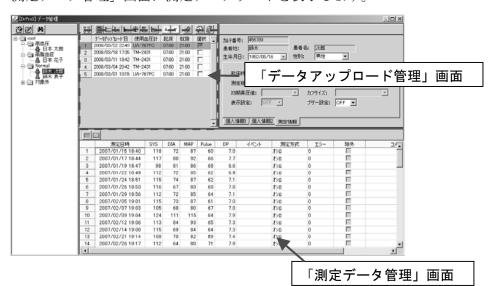
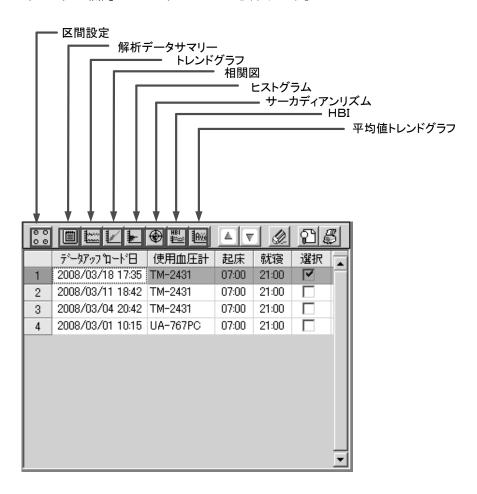
取り込んだ測定データを保存します。
（詳しくは「10.　データ受信」を参照してください。

(1)　登録されている患者からデータ保存先を選択します。
　　新規患者の場合は〔新規患者登録〕をクリックして、先に「新規患者登録」を行ってください。
　　データ保存先の選択が完了したら、[次へ]をクリックします。

(2)　登録する患者を確認します。よろしければ［保存］をクリックし、さらに確認画面で[ＯＫ]をクリックします。

(3)　保存終了画面が表示されたら患者データ登録は完了です。

・データの受信・保存を完了する場合は[閉じる]をクリックしてください。
・繰り返してデータ受信する場合は［次のデータ受信へ］をクリックしてください。

# 7-4 測定データを解析する

測定データを解析する方法は以下の手順で行います。

（詳しくは「9.　データ管理」を参照してください。

(1)　「クイック起動メニュー」の「データ管理」をクリックします。

(2)　患者データを「グループ一覧」から選択します。

(3)　「データアップロード管理」画面から、解析対象の「データアップロード日」をクリックし、「測定データ管理」画面に測定データリストを表示します。

(4)　「データアップロード管理」画面で解析対象の「データアップロード日」をクリックし、「選択」の「□（チェック欄)」にチェックマークを付けます。

解析できる方法は以下の通りです。(詳しくは「9-6 データ解析」画面を参照してください。)

| メニュー | 参照 |
|---|---|
| 区間設定 | 9-6-1 |
| 解析データサマリー | 9-6-2 |
| トレンドグラフ | 9-6-3 |
| 相関図 | 9-6-4 |
| ヒストグラム | 9-6-5 |
| サーカディアンリズム | 9-6-6 |
| ＨＢＩ | 9-6-7 |
| 平均値トレンドグラフ | 9-6-8 |

# 7-5 印刷する

解析した測定データを印刷することが可能です。印刷は以下の手順で行います。
（詳しくは「9-7　解析データの印刷」を参照してください。）

(1)　「データアップロード管理」画面で印刷プレビューできます。まとめ印刷をクリックするとすべての方法で解析した結果が印刷できます。

| | ﾃﾞｰﾀｱｯﾌﾟﾛｰﾄﾞ日 | 使用血圧計 | 起床 | 就寝 | 選択 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2008/03/18 17:35 | TM-2431 | 07:00 | 21:00 | ☑ |
| 2 | 2008/03/11 18:42 | TM-2431 | 07:00 | 21:00 | ☐ |
| 3 | 2008/03/04 20:42 | TM-2431 | 07:00 | 21:00 | ☐ |
| 4 | 2008/03/01 10:15 | UA-767PC | 07:00 | 21:00 | ☐ |

(2)　解析結果は以下の方法で印刷が可能です。
（[区間解析]、[起床]、[就寝]設定の詳細は「9-6　「データ解析」画面」を参照してください。）

### 「解析データサマリー」画面での出力

・[全区間解析]タブ画面　⇒　[印刷]をクリックし出力します。
・[区間解析]タブ画面　⇒　[印刷]をクリックし出力します。
・[起床]タブ画面　⇒　[印刷]をクリックし出力します。
・[就寝]タブ画面　⇒　[印刷]をクリックし出力します。

### 「トレンドデータ」画面での出力

・ [個別印刷]　⇒　トレンドグラフが印刷されます。
・ [まとめ印刷]　⇒　印刷オプションを選択、グラフ軸を設定し印刷します。

### 「相関図」画面での出力

・ [個別印刷]　⇒　相関図が印刷されます。
・ [まとめ印刷]　⇒　印刷オプションを選択、グラフ軸を設定し印刷します。

### 「ヒストグラム」画面での出力

・ [個別印刷]　⇒　ヒストグラムが印刷されます。
・ [まとめ印刷]　⇒　印刷オプションを選択、グラフ軸を設定し印刷します。

「サーカディアンリズム」画面での出力

・［個別印刷］ ⇒ サーカディアンリズムが印刷されます。

・［まとめ印刷］ ⇒ 印刷オプションを選択、グラフ軸を設定し印刷します。

「ＨＢＩ」画面での出力

・［個別印刷］ ⇒ ＨＢＩ解析図が印刷されます。

・［まとめ印刷］ ⇒ 印刷オプションを選択、グラフ軸を設定し印刷します。

「平均値トレンドグラフ」画面での出力

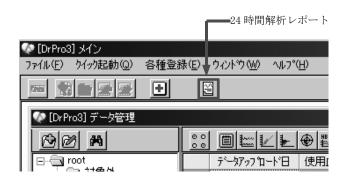
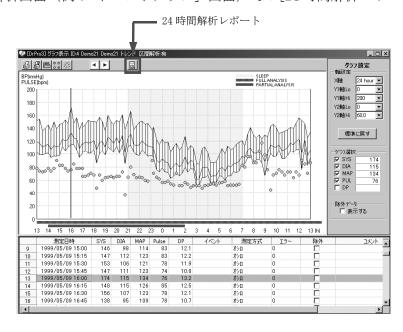
・［個別印刷］ ⇒ 平均値トレンドグラフが印刷されます。

・［まとめ印刷］ ⇒ 印刷オプションを選択、グラフ軸を設定し印刷します。

# 7-6 24 時間解析レポート

レポートの印刷は以下の手順で行います。

(1)　測定データが選択されているとき[24 時間解析レポート]アイコンをクリックすると「24 時間解析レポートデータ選別」を表示します。

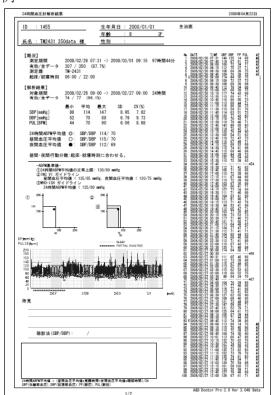
①「データアップロード管理」画面での[24 時間解析レポート]アイコン

②解析画面（例：「トレンドグラフ」画面）での[24 時間解析レポート]アイコン

■ 日付時刻設定を過去に戻して測定したデータは解析から除外します。
自動的に除外したデータはレポートのリスト欄に'AE'マークを付加します。

■ 同じ日付時刻データは解析対象とします。ただしトレンドグラフの描画は同時刻のデータのうち初回データのみをトレンド描画します。
（HBI 解析、サーカディアンリズム解析では重ね合わせます。）

(2)　「24 時間解析レポートデータ選別」画面

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 最初/最後のデータ | 選択されているデータの「最初/最後のデータ」の日付時刻 |
| 対象期間 | 測定データのうち「除外」する期間を選択します。 |
| 対象データ | データの「除外する/しない」を選択します。 |
| 昼間・夜間の行動分離 | 「起床時間」、「就寝時間」で行動分離できます。 |
| ［レポート印刷］ | 設定条件に基づいて印刷を開始します。 |

各項目の設定内容を確認して　［レポート印刷］をクリックします。

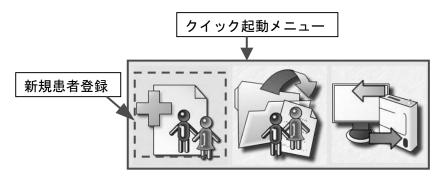
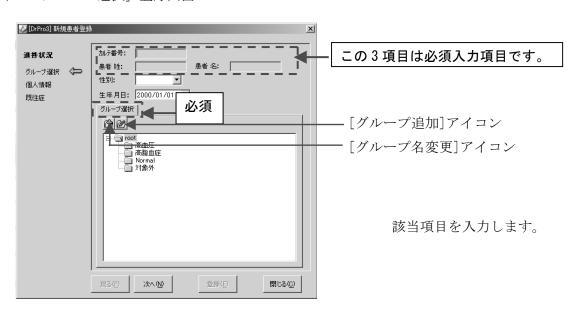
(3)　印刷例

※データが 100 件を超える場合は、2 ページ以降に印字されます。

# 8. 新規患者登録

新規患者のデータを入力します。

(1)　「クイック起動メニュー」の「新規患者登録」をクリックします。

(2)　「グループ選択」登録画面

該当項目を入力します。

| 記入項目 | 説明 |
|---|---|
| カルテ番号（必須） | 入力します。(最大 20 桁) |
| 患者姓名　（必須） | 入力します。(最大　姓：30 桁　名：30 桁) |
| 性別 | プルダウンメニューから選択します。(不明の場合は空白) |
| 生年月日 | 入力します。 |
| グループ選択（必須） | グループをクリックして選択します。<br>フォルダにマウスポイントを合わせた状態で[グループ追加][グループ名変更]をクリックするか、あるいはマウスを右クリックすると「グループ追加」「グループ名変更」ができます。 |

入力完了後、[次へ]をクリックします。

(3)　「個人情報」登録画面

| 記入項目 | 説明 |
|---|---|
| 身長 | 入力します。(0～99999　少数点有りの場合は任意箇所) |
| 体重 | 入力します。(0～99999　少数点有りの場合は任意箇所) |
| 住所 | 入力します。(最大 50 桁) |
| 電話 | 入力します。0～9、-（ハイフン）のみ（最大 30 桁) |
| E-Mail | 入力します。英数字のみ（最大 50 桁) |
| 保険 | 入力します。 |
| 主治医 | 入力します。(最大 30 桁) |
| 投薬 | 入力します。(最大 60 桁) |
| コメント１ | 入力します。(最大 200 桁) |
| コメント２ | 入力します。(最大 200 桁) |
| 測定パターン | プルダウンメニューから選択します。 |

入力完了後、[次へ]をクリックします。

(4)　「既往症」登録画面

| 記入項目 | 説明 |
|---|---|
| 糖尿 | 「無・有・不明」のいずれかを選択します。 |
| 高血圧 | 「無・有・不明」のいずれかを選択します。 |
| 高脂血症 | 「無・有・不明」のいずれかを選択します。 |
| メタボリック | 「無・有・不明」のいずれかを選択します。 |

入力完了後、[次へ]をクリックします。
次に[登録]をクリックします。

(5)　「登録確認」画面

[ＯＫ]をクリックしたら登録完了です。

# 9. データ管理

「クイック起動メニュー」の「データ管理」をクリックします。
この画面でグループの管理と患者データの管理をおこないます。

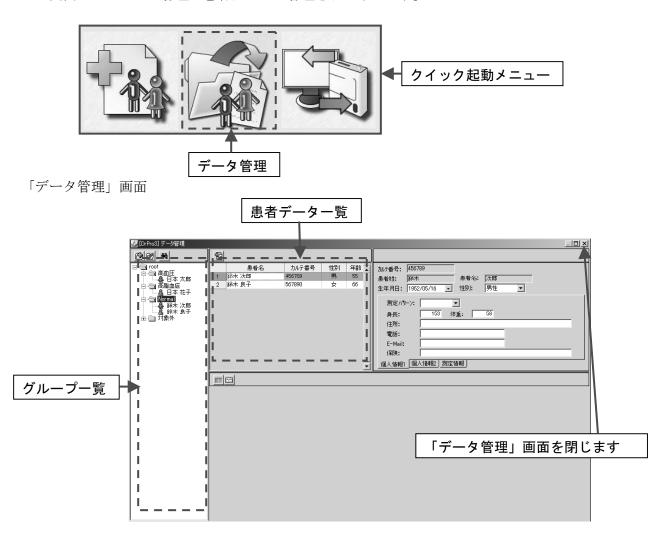
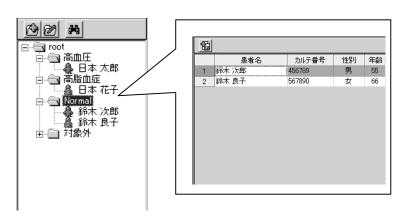
クイック起動メニュー

データ管理

「データ管理」画面

患者データ一覧

グループ一覧

「データ管理」画面を閉じます

「グループ一覧」の中のグループフォルダをクリックすると、「患者データ一覧」に該当データが表示されます。

# 9-1 「グループ一覧」の編集

「グループ一覧」では、［グループ追加］、［グループ名変更］、［検索］が行えます。

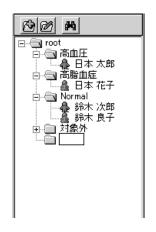
| お知らせ |
| --- |
| ■ ［グループ追加］、［グループ名変更］は選択したグループのフォルダを選択して右クリックしても行うことが可能です。<br>なお、グループを削除することはできません。不要になった場合には、root 下の「対象外」フォルダに移動してください。 |

## 9-1-1 ［グループ追加］

(1) 追加したいグループのフォルダをクリックします。

(2) ［グループ追加］アイコンをクリックします。

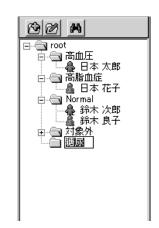
(3) グループフォルダが追加されます。

(4) グループ名を入力します。

## 9-1-2 ［グループ名変更］

**注意：患者氏名は変更できません。**

(1) 変更したいグループフォルダ名をクリックします。

(2) ［グループ名変更］アイコンをクリックします。

(3) グループ名を入力します。

## 9-1-3 ［検索］

検索アイコンをクリックします。

(1) 検索項目を入力します。

(2) ［検索］をクリックします。

(3) 検索結果が表示されます。

# 9-2 「患者データ一覧」の編集

患者データ一覧では、［患者追加］が行えます。
なお、患者を削除することはできません。不要になった場合には、root 下の「対象外」フォルダに移動してください。

## 9-2-1 ［患者追加］

(1)　「グループ一覧」で患者を追加したいフォルダをクリックします。

(2)　［患者追加］アイコンをクリックして「簡易患者登録」画面を表示します。

以下の項目を入力します。
・カルテ番号（必須）
・患者姓（必須）
・患者名（必須）
・生年月日
・性別

入力が完了したら［登録］をクリックします。

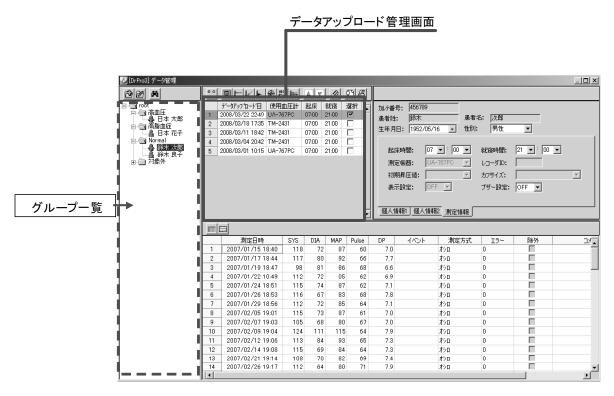
(3)　確認画面が表示されます。

(4)　「登録しますか？」で［ＯＫ］をクリックしたら追加登録完了です。

# 9-3 「データアップロード管理」画面

計測したデータの各種解析結果の表示および印刷を行います。

## 9-3-1 「データアップロード管理」画面を開く

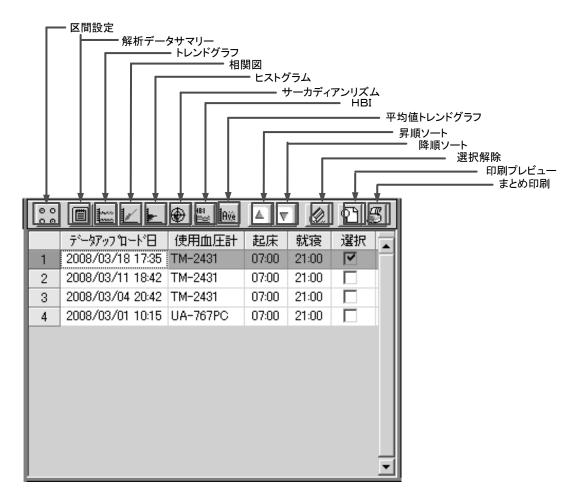
「グループ一覧」で患者名をクリックすると「データアップロード管理」画面が表示されます。

「データアップロード管理」画面の項目

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| データアップロード日 | データをアップロード（受信）した日付を表示します。 |
| 使用血圧計 | データを計測した血圧計の機器の型番を表示します。 |
| 起床 | 起床時間を表示します。 |
| 就寝 | 就寝時間を表示します。 |
| 選択 | チェックを入れると解析対象データとして選択されます。 |
| CSV | データ形式を表示します。<br>2C:DrPro2 の CSV インポートによるデータ形式。<br>2D:DrPro2 の DAT インポートによるデータ形式。<br>3C:DrPro3 の CSV インポートによるデータ形式。<br>空白：通常測定データ |

**お知らせ**

■ CSV 欄は、通常は非表示となっています。表示したい場合は、「データアップロード管理」画面内で列幅を調整してください。

## 9-3-2 解析アイコンの選択

「データアップロード管理」画面上のアイコンをクリックするとデータの各種解析が行えます。

**注意：使用血圧計が TM-2431 の場合は各種設定・表示をする前に「データアップロード日」の中から希望するものを最大２個まで選択してください。(「選択」の□にチェックマークを追加)**

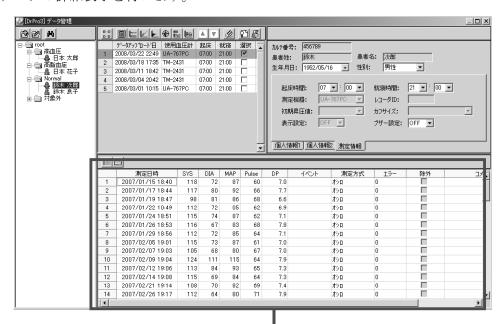
解析メニューの説明

| メニュー | 参照 | 内容 |
|---|---|---|
| 区間設定 | 9-6-1 | 読み込んだデータを解析する範囲の条件を定義します。この定義で、全体の解析区間設定と任意に設定された時間領域についてのデータ処理ができます。 |
| 解析データサマリー | 9-6-2 | 統計値データを表示します。 |
| トレンドグラフ | 9-6-3 | 最高血圧、最低血圧、平均血圧、脈拍（心拍数）、ダブルプロダクトトレンドを表示します。 |
| 相関図 | 9-6-4 | 最高血圧対最低血圧、最高血圧対脈拍の相関図を表示します。散布図は、最高血圧と最低血圧の相対的関係と１日の血圧の最高値、最低値、変動幅、密度などを直感的に観察できます。 |
| ヒストグラム | 9-6-5 | 測定データの度数分布を表示します。<br>測定期間における最頻値と頻度分布、分布幅が直感的に観察できます。 |

| | | |
|---|---|---|
| サーカディアンリズム | 9-6-6 | 測定データの COSIN フィッティンググラフと 95%信頼性区間に基づく、振幅とピーク位置推定グラフおよび数値データを表示します。<br>**注意：解析開始から 24 時間までを表示します。** |
| ＨＢＩ | 9-6-7 | ユーザ定義による起床・睡眠時の閾値を基に上回る部分の面積(HYPERBALIC AREA)、下回る部分の面積(HYPOBALIC AREA)を示すグラフと一日で換算された数値データを表示します。<br>**注意：解析開始から 24 時間までを表示します。** |
| 平均値トレンドグラフ | 9-6-8 | 最高血圧、最低血圧、平均血圧、脈拍（心拍数）の１時間毎の平均値のトレンドを表示します。 |
| 昇順ソート | | データアップロード日の並び替えを行います。上から過去の日付順になります。 |
| 降順ソート | | データアップロード日の並び替えを行います。上から新しい日付順になります。 |
| 選択解除 | | データアップロード日の選択チェックをすべて解除します。 |
| 印刷プレビュー | 9-7-1 | データアップロード日の中から印刷したいデータを選択し、プレビュー画面を表示します。 |
| まとめ印刷 | 9-7-2 | 印刷オプションを選択し印刷します。 |

※「データアップロード管理」画面の「データアップロード日」欄をダブルクリックすると、「データエクスポート」画面に変わります。詳しくは「12-2　エクスポート（ファイル出力）手順」を参照してください。

# 9-4 「測定データ管理」画面

計測したデータの詳細表示を行います。

測定データ管理画面

各項目の説明

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 左端 | 測定番号です。 |
| 測定日時 | 測定日および測定時刻です。 |
| SYS | 最高血圧です。 |
| DIA | 最低血圧です。 |
| MAP | 下に示す算出法により求めた平均血圧です。<br>平均血圧=最低血圧+(最高血圧-最低血圧)/3 |
| Pulse | 脈拍数です。 |
| DP | ダブルプロダクトです。最高血圧×脈拍数/1000 で求めます。 |
| イベント | TM-2431 では Sleep 測定、または手動測定の区分を表示します。<br>（UA-767PC では常に“0”） |
| 測定方式 | 血圧測定方法を示します。コロトコフ音法、オシロメトリック法があります。 |
| エラー | 個々のエラーを示します。<br>（TM-2431 測定時のエラーコード、UA-767PC では常に“0”） |
| 除外ボックス | 解析から除外するデータをチェックします。 |
| コメント | 20 文字まで、診断などのコメントを入力することができます。 |
| スクロールバー | 画面上下、および左右にあり、データをスクロール表示します。矢印キーおよびマウスでもデータのスクロールができます。 |

## 9-4-1 「測定データ管理」画面の切り替え

「測定データ管理」画面でアイコンをクリックすると以下の２画面を切り替え表示できます。

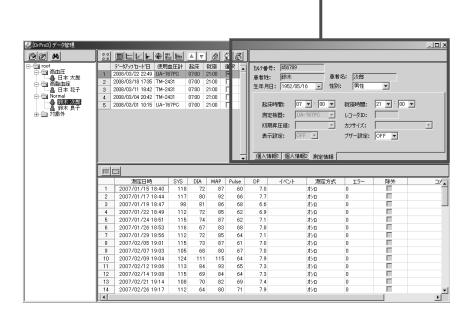
「データサマリー表示」画面

※列幅の調整が可能です。ただし、「測定日時」「除外ボックス」は固定です。

| | 測定日時 | SYS | DIA | MAP | Pulse | DP | イベント | 測定方式 | エラー | 除外 | コメント |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1999/05/09 13:00 | 152 | 103 | 119 | 78 | 11.8 | | ｵｼﾛ | 0 | ☐ | |
| 2 | 1999/05/09 13:15 | 154 | 99 | 117 | 74 | 11.3 | | ｵｼﾛ | 0 | ☐ | |
| 3 | 1999/05/09 13:30 | 136 | 99 | 111 | 73 | 9.9 | | ｵｼﾛ | 0 | ☐ | |
| 4 | 1999/05/09 13:45 | 140 | 101 | 114 | 74 | 10.3 | | ｵｼﾛ | 0 | ☐ | |
| 5 | 1999/05/09 14:00 | 145 | 102 | 116 | 78 | 11.3 | | ｵｼﾛ | 0 | ☐ | |
| 6 | 1999/05/09 14:15 | 136 | 95 | 108 | 74 | 10.0 | | ｵｼﾛ | 0 | ☐ | |
| 7 | 1999/05/09 14:30 | 150 | 97 | 114 | 78 | 11.7 | | ｵｼﾛ | 0 | ☐ | |
| 8 | 1999/05/09 14:45 | 139 | 97 | 111 | 90 | 12.5 | | ｵｼﾛ | 0 | ☐ | |
| 9 | 1999/05/09 15:00 | 146 | 98 | 114 | 83 | 12.1 | | ｵｼﾛ | 0 | ☐ | |
| 10 | 1999/05/09 15:15 | 147 | 112 | 123 | 83 | 12.2 | | ｵｼﾛ | 0 | ☐ | |
| 11 | 1999/05/09 15:30 | 153 | 106 | 121 | 78 | 11.9 | | ｵｼﾛ | 0 | ☐ | |
| 12 | 1999/05/09 15:45 | 147 | 111 | 123 | 74 | 10.8 | | ｵｼﾛ | 0 | ☐ | |
| 13 | 1999/05/09 16:00 | 174 | 115 | 134 | 76 | 13.2 | | ｵｼﾛ | 0 | ☐ | |
| 14 | 1999/05/09 16:15 | 148 | 115 | 126 | 85 | 12.5 | | ｵｼﾛ | 0 | ☐ | |
| 15 | 1999/05/09 16:30 | 156 | 107 | 123 | 78 | 12.1 | | ｵｼﾛ | 0 | ☐ | |
| 16 | 1999/05/09 16:45 | 138 | 95 | 109 | 78 | 10.7 | | ｵｼﾛ | 0 | ☐ | |

「簡易トレンド表示」画面

# 9-5 「個人測定情報管理」画面

患者の測定情報・個人情報の編集を行います。

個人測定情報管理画面

「個人測定情報管理」画面には３つのタブがあります。

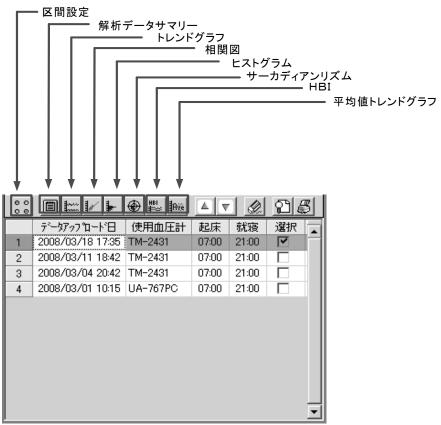
・測定情報タブ

・個人情報１タブ

・個人情報２タブ

| 記入項目 | 説明 |
|---|---|
| カルテ番号　（必須） | 入力します。（最大 20 桁） |
| 患者姓　（必須） | 入力します。（最大 30 桁） |
| 患者名　（必須） | 入力します。（最大 30 桁） |
| 生年月日 | プルダウンメニューから選択または入力します。 |
| 性別 | プルダウンメニューから選択します。 |
| 起床時間 | 24 時間制で入力します。 |
| 就寝時間 | 24 時間制で入力します。 |
| 測定機器 | プルダウンメニューから選択します。 |
| レコーダ ID | 入力します。　0～9 のみ（最大 2 桁） |
| 初期昇圧値 | プルダウンメニューから選択します。 |
| カフサイズ | プルダウンメニューから選択します。 |
| 表示設定 | プルダウンメニューから選択します。 |
| ブザー設定 | プルダウンメニューから選択します。 |
| 測定パターン | プルダウンメニューから選択します。 |
| 身長 | 入力します。（0～99999　小数点有の場合は任意箇所） |
| 体重 | 入力します。（0～99999　小数点有の場合は任意箇所） |
| 住所 | 入力します。（最大 50） |
| 電話 | 入力します。0～9、－（ハイフン）のみ（最大 30 桁） |
| E-mail | 入力します。英数字のみ（最大 50 桁） |
| 保険 | 入力します。 |
| 主治医 | 入力します。（最大 30 桁） |
| 投薬 | 入力します。（最大 60 桁） |
| コメント１ | 入力します。（最大 200 桁） |
| コメント２ | 入力します。（最大 200 桁） |

# 9-6 「データ解析」画面

「データアップロード管理」画面上にはデータ解析アイコンがあります。「データアップロード管理」画面で選択した測定データの区間設定を設定したのち、各解析アイコンをクリックしてデータ解析を行います。

## 9-6-1 区間設定

「データアップロード管理」画面で選択した測定データの中で解析したい区間を設定します。

(1) 「全区間解析」・「全区間＋区間解析」を選択します。

(2) 解析したい区間の開始日時および期間をスクロールバーで設定します。

(3)　[適用]をクリックします。

(4)　「確認」画面が表示されます。[ＯＫ]をクリックします。

(5)　設定終了後、[閉じる]をクリックします。

## 9-6-2 解析データサマリー

統計値データを表示します。「サマリーデータ」画面には４つのタブがあります。それぞれの内容は以下のとおりです。

[全区間解析]：選択した全データに基づく統計値です。

[区間解析]　：区間で範囲指定したデータに基づく統計値です。

[起床]　　　：起床区間のデータに基づく統計値です。

起床区間の定義は、「個人測定情報管理」画面の起床時間から就寝時間までの時間です。

[就寝]　　　：睡眠区間のデータに基づく統計値です。

睡眠区間の定義は、「個人測定情報管理」画面の就寝時間から起床時間までの時間です。

サマリーデータを表示、印刷、閉じるには、以下の手順に従ってください。

(1)　[解析データサマリー]をクリックします。「サマリーデータ」画面が表示されます。

| | 最小値 | 平均 | 最大値 | SD | SE | CV% |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 最高血圧[mmHg] | 84 | 133 | 174 | 19.83 | 2.00 | 14.96 |
| 最低血圧[mmHg] | 49 | 90 | 115 | 17.22 | 1.74 | 19.15 |
| 平均血圧[mmHg] | 61 | 104 | 134 | 17.76 | 1.79 | 17.11 |
| 脈拍数[BPM] | 37 | 69 | 118 | 14.51 | 1.47 | 21.19 |

(2)　４つのタブのいずれかをクリックします。[全区間解析]タブは常に選択できます。他のタブは指定されていないと選択できません。区間解析を指定するには、「区間設定」にて「全区間＋区間解析」を選択してください。睡眠区間を指定するには、「個人測定情報管理」画面にて「起床時間」および「就寝時間」を入力してください。

(3)　個々のデータを印刷するには、印刷するデータのタブを選択してから、画面左下にある[印刷]をクリックします。

(4)　[閉じる]をクリックして画面を閉じます。

「サマリーデータ」画面には、タイトルとしてタブで選択したデータ種類、患者名を表示します。さらに、以下の各項目を表示します。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 区間範囲 | 解析時間、開始日付時刻、終了日付時刻 |
| 有効データ数 | 解析時間内の、エラーや除外したデータを除いた全データ数です。 |
| 無効データ数 | 除かれたエラーや除外したデータ数と全体に占めるその割合です。 |
| 最小値 | 解析時間内の最高血圧、最低血圧、平均血圧、脈拍数の最も小さな値です。 |
| 平均 | 解析時間内の最高血圧、最低血圧、平均血圧、脈拍数の平均値です。 |
| 最大値 | 解析時間内の最高血圧、最低血圧、平均血圧、脈拍数の最も大きな値です。 |
| SD（標準偏差） | 解析時間内の最高血圧、最低血圧、平均血圧、脈拍数の標準偏差です。 |
| SE（標準誤差） | 解析時間内の最高血圧、最低血圧、平均血圧、脈拍数の標準誤差です。 |
| CV%（変動係数） | 解析時間内の最高血圧、最低血圧、平均血圧、脈拍数の変動係数です。 |
| SYS/DIA 閾値 | 設定されている起床時、睡眠時の閾値（限界値）を表示します。 |
| 最高血圧＞ | 指定した閾値より大きな最高血圧の占める割合です。最高血圧閾値の設定に関しては、「13-4 グラフ標準値設定」を参照してください。 |
| 最低血圧＞ | 指定した閾値より大きな最低血圧の占める割合です。最低血圧閾値の設定に関しては、「13-4 グラフ標準値設定」を参照してください。 |
| 最高血圧最大値 | 解析時間内の最大の最高血圧値とその値を読みとった日時です。 |
| 最高血圧最小値 | 解析時間内に最小の最高血圧値とその値を読みとった日時です。 |
| 最低血圧最大値 | 解析時間内に最大の最低血圧値とその値を読みとった日時です。 |
| 最低血圧最小値 | 解析時間内に最小の最低血圧値とその値を読みとった日時です。 |

## 9-6-3 トレンドグラフ

血圧、脈拍数、平均血圧、ダブルプロダクトの時間の経過とともに変化するトレンドをグラフ表示します。「トレンドグラフ」画面を使うと、患者の日内変動が観察できます。

トレンド機能には、以下のパラメータが関係します。

1．区間解析
2．血圧測定法
3．睡眠区間
4．血圧閾値

### （1）使用血圧計が TM-2431 の場合

「トレンドグラフ」画面で表示するトレンドは以下のとおりです。

- ♦ 最高血圧と最低血圧（血圧トレンド）
  グラフの X 軸は時刻で、Y 軸は mmHg です。縦の実線が最高血圧と最低血圧を結びます。この線を使って脈圧を求めることができます。
- ♦ 脈拍数（PULSE トレンド）
  グラフの X 軸は時刻で、Y 軸は BPM（1 分間に換算した脈拍数）です。
- ♦ 平均血圧（MAP トレンド）
  グラフの X 軸は時刻で、Y 軸は mmHg です。MAP トレンドは単独でも、血圧トレンドと組み合わせても表示できます。組み合わせる場合は、最高血圧、最低血圧の各トレンド線の間に表示されます。
- ♦ ダブルプロダクト
  グラフの X 軸は時刻で、Y 軸は mmHg･bpm/1000 です。

| | 測定日時 | SYS | DIA | MAP | Pulse | DP | ｲﾍﾞﾝﾄ | 測定方式 | ｴﾗｰ | 除外 | ｺﾒﾝﾄ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 1999/05/09 15:00 | 146 | 98 | 114 | 83 | 12.1 | | ｵｼﾛ | 0 | □ | |
| 10 | 1999/05/09 15:15 | 147 | 112 | 123 | 83 | 12.2 | | ｵｼﾛ | 0 | □ | |
| 11 | 1999/05/09 15:30 | 153 | 106 | 121 | 78 | 11.9 | | ｵｼﾛ | 0 | □ | |
| 12 | 1999/05/09 15:45 | 147 | 111 | 123 | 74 | 10.8 | | ｵｼﾛ | 0 | □ | |
| 13 | 1999/05/09 16:00 | 174 | 115 | 134 | 76 | 13.2 | | ｵｼﾛ | 0 | □ | |
| 14 | 1999/05/09 16:15 | 148 | 115 | 126 | 85 | 12.5 | | ｵｼﾛ | 0 | □ | |
| 15 | 1999/05/09 16:30 | 156 | 107 | 123 | 78 | 12.1 | | ｵｼﾛ | 0 | □ | |
| 16 | 1999/05/09 16:45 | 138 | 95 | 109 | 78 | 10.7 | | ｵｼﾛ | 0 | □ | |

「トレンドグラフ」画面でのアイコンの機能

| 番号 | アイコン名称 | 説明 |
|---|---|---|
| ① | 個別印刷 | 「トレンドグラフ」画面を印刷します。 |
| ② | まとめ印刷 | 印刷オプションを選択し印刷します。 |
| ③ | 一覧表示/非表示 | 画面下の測定データ画面の表示/非表示ができます。 |
| ④ | 区間設定 | 読み込んだデータを解析する範囲の条件を定義します。この定義で、全体の解析区間設定と任意に設定された時間領域についてのデータ処理ができます。 |
| ⑤ | 閉じる | 「トレンドグラフ」画面を閉じます。 |
| ⑥ | カーソル左右移動 | カーソルを移動します。 |
| ⑦ | 24 時間解析レポート | 「24 時間解析レポートデータ選別」画面へ移動します。 |
| ⑧ | 軸設定 | グラフの軸設定を変更します。 |
| ⑨ | グラフ選択 | ボックスをチェックするとグラフを表示し、チェックをはずすとグラフ非表示となります。<br>ダブルプロダクト(DP)の場合には、チェックをはずすと値のグラフが非表示となるとともに、グラフ右側の Y 軸も非表示になります。 |
| ⑩ | 除外データ | 画面下測定データ画面で除外を選択したデータをグラフで表示するかどうかを選択します。 |

「トレンドグラフ」画面右上の[×]をクリックしても画面を閉じることができます。

### （２）使用血圧計が UA-767PC の場合

「トレンドグラフ」画面で表示するトレンドは以下のとおりです。

- ♦ 最高血圧と最低血圧（血圧トレンド）

  グラフの X 軸は時刻で、Y 軸は mmHg です。赤の実線が最高血圧、緑の実線が最低血圧です。

- ♦ 脈拍数（PULSE トレンド）

  グラフの X 軸は時刻で、Y 軸は BPM（1 分間に換算した脈拍数）です。黄の円で分布します。

- ♦ 平均血圧（MAP トレンド）

  グラフの X 軸は時刻で、Y 軸は mmHg です。MAP トレンドは単独でも、血圧トレンドと組み合わせても表示できます。組み合わせる場合は、最高血圧、最低血圧の各トレンド線の間に青の実線で表示されます。

- ♦ ダブルプロダクト

  グラフの X 軸は時刻で、Y 軸は mmHg･bpm/1000 です。黄色の実線で表示されます。

| | 測定日時 | SYS | DIA | MAP | Pulse | DP | イベント | 測定方式 | エラー | 除外 | コメント |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2007/01/15 18:40 | 118 | 72 | 87 | 60 | 7.0 | | ｵｼﾛ | 0 | | |
| 2 | 2007/01/17 18:44 | 117 | 80 | 92 | 66 | 7.7 | | ｵｼﾛ | 0 | | |
| 3 | 2007/01/19 18:47 | 98 | 81 | 86 | 68 | 6.6 | | ｵｼﾛ | 0 | | |
| 4 | 2007/01/22 18:49 | 112 | 72 | 85 | 62 | 6.9 | | ｵｼﾛ | 0 | | |
| 5 | 2007/01/24 18:51 | 115 | 74 | 87 | 62 | 7.1 | | ｵｼﾛ | 0 | | |
| 6 | 2007/01/26 18:53 | 116 | 67 | 83 | 68 | 7.8 | | ｵｼﾛ | 0 | | |
| 7 | 2007/01/29 18:56 | 112 | 72 | 85 | 64 | 7.1 | | ｵｼﾛ | 0 | | |
| 8 | 2007/02/05 19:01 | 115 | 73 | 87 | 61 | 7.0 | | ｵｼﾛ | 0 | | |

「トレンドグラフ」画面でのアイコンの機能

| 番号 | アイコン名称 | 説明 |
|---|---|---|
| ① | 個別印刷 | 「トレンドグラフ」画面を印刷します。 |
| ② | まとめ印刷 | 印刷オプションを選択し印刷します。 |
| ③ | 一覧表示/非表示 | 画面下の測定データ画面の表示/非表示ができます。 |
| ④ | 区間設定 | 読み込んだデータを解析する範囲の条件を定義します。この定義で、全体の解析区間設定と任意に設定された時間領域についてのデータ処理ができます。 |
| ⑤ | 閉じる | 「トレンドグラフ」画面を閉じます。 |
| ⑥ | 24時間解析レポート | 「24時間解析レポートデータ選別」画面へ移動します。 |
| ⑦ | 軸設定 | グラフの軸設定を変更します。 |
| ⑧ | グラフ選択 | ボックスをチェックするとグラフを表示し、チェックをはずすとグラフ非表示となります。<br>ダブルプロダクト(DP)の場合には、チェックをはずすと値のグラフが非表示となるとともに、グラフ右側のY軸も非表示になります。 |
| ⑨ | 除外データ | 画面下測定データ画面で除外を選択したデータをグラフで表示するかどうかを選択します。 |
| ⑩ | スライドバー移動 | 表示する測定日時の範囲を前後に移動します。 |

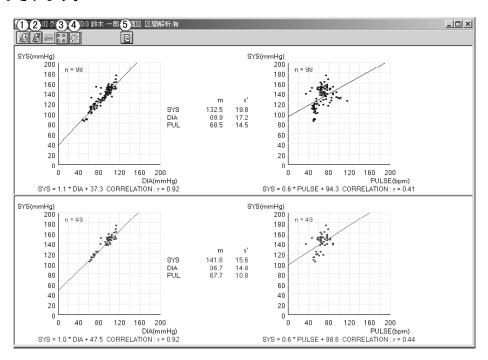
「トレンドグラフ」画面右上の[×]をクリックしても画面を閉じることができます。

## 9-6-4 相関図

「相関図」画面では、血圧パラメータ間の相関関係を簡単に見ることができます。全区間解析と区間解析の相関図が表示できるのは、以下の項目です。

1．最高血圧対最低血圧
2．最高血圧対脈拍（心拍数）
3．統計値：最高血圧、最低血圧、脈拍
　- 平均
　- 標準偏差、[SD]
　- 相関係数、[r]
　- 回帰直線

左のグラフの X 軸は最低血圧を、Y 軸は最高血圧を示します。右のグラフの X 軸は脈拍を、Y 軸は最高血圧を示します。全グラフのスケーリングはオートスケールで、範囲は 0 から 300 です。

**注意：区間解析を選択すると、全区間のデータは上段に青で、区間解析のデータは下段に赤で表示されます。**

「相関図」画面でのアイコンの機能

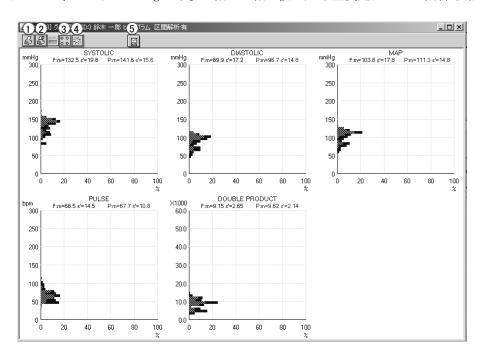
| 番号 | アイコン名称 | 説明 |
|---|---|---|
| ① | 個別印刷 | 「相関図」画面を印刷します。 |
| ② | まとめ印刷 | 印刷オプションを選択し印刷します。 |
| ③ | 区間設定 | 読み込んだデータを解析する範囲の条件を定義します。この定義で、全体の解析区間設定と任意に設定された時間領域についてのデータ処理ができます。 |
| ④ | 閉じる | 「相関図」画面を閉じます。 |
| ⑤ | 24 時間解析レポート | 「24 時間解析レポートデータ選別」画面へ移動します。 |

「相関図」画面右上の[×]をクリックしても画面を閉じることができます。

## 9-6-5 ヒストグラム

「ヒストグラム」画面では、最高血圧、最低血圧、平均血圧、脈拍とＤＰの分布度合、統計値（それぞれの項目の平均と標準偏差）がわかります。

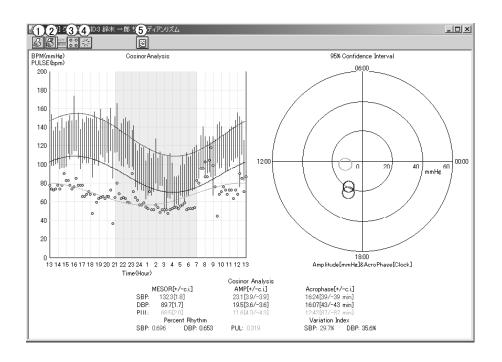
**注意：区間解析を選択すると、全区間のデータは青で、区間解析のデータは赤で表示されます。**

Ｙ軸のスケールは、0 から 300mmHg です。X 軸はＹ軸の値に入る全測定データの割合を帯で示します。

「ヒストグラム」画面でのアイコンの機能

| 番号 | アイコン名称 | 説明 |
|---|---|---|
| ① | 個別印刷 | 「ヒストグラム」画面を印刷します。 |
| ② | まとめ印刷 | 印刷オプションを選択し印刷します。 |
| ③ | 区間設定 | 読み込んだデータを解析する範囲の条件を定義します。この定義で、全体の解析区間設定と任意に設定された時間領域についてのデータ処理ができます。 |
| ④ | 閉じる | 「ヒストグラム」画面を閉じます。 |
| ⑤ | 24 時間解析レポート | 「24 時間解析レポートデータ選別」画面へ移動します。 |

「ヒストグラム」画面右上の[×]をクリックしても画面を閉じることができます。

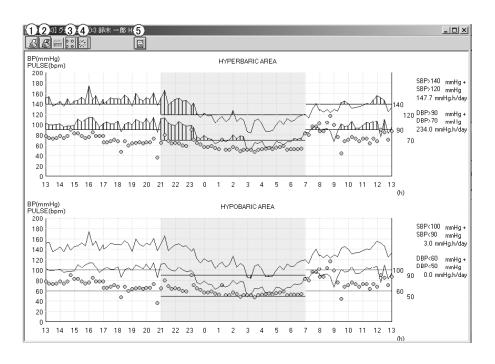
## 9-6-6 サーカディアンリズム

「サーカディアンリズム」画面では、最高血圧、最低血圧、脈拍の 24 時間コサイナー法による日内リズムを表示します。解析開始時間は、全区間解析で設定されている開始時間と一致します。また同時に、95%信頼性区間に基づくコサイン波の振幅とピーク位置の範囲を表示します。表示中の赤色は最高血圧、青色は最低血圧、黄色は脈拍を示します。

「サーカディアンリズム」画面でのアイコンの機能

| 番号 | アイコン名称 | 説明 |
|---|---|---|
| ① | 個別印刷 | 「サーカディアンリズム」画面を印刷します。 |
| ② | まとめ印刷 | 印刷オプションを選択し印刷します。 |
| ③ | 区間設定 | 読み込んだデータを解析する範囲の条件を定義します。この定義で、全体の解析区間設定と任意に設定された時間領域についてのデータ処理ができます。 |
| ④ | 閉じる | 「サーカディアンリズム」画面を閉じます。 |
| ⑤ | 24 時間解析レポート | 「24 時間解析レポートデータ選別」画面へ移動します。 |

「サーカディアンリズム」画面右上の[×]をクリックしても画面を閉じることができます。

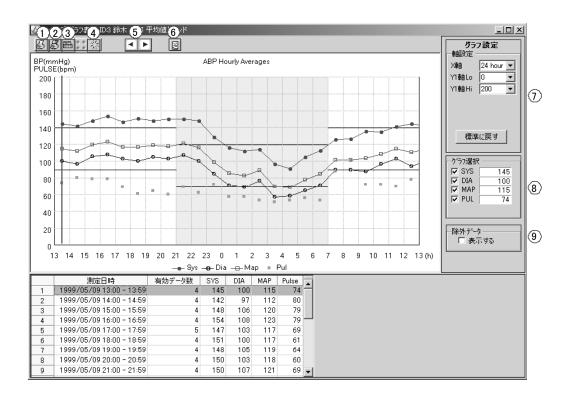
## 9-6-7 ＨＢＩ解析

「ＨＢＩ」画面では、上段、下段に２つのグラフを表示します。上段には、予め設定した最高血圧･最低血圧のハイパーバリック閾値を上回った部分の領域を赤色表示する HYPERBALIC AREA グラフと１日で換算された面積算出値を表示します。下段には、予め設定した最高血圧･最低血圧のハイポバリック閾値を回った部分の領域を赤色表示する HYPOBALIC AREA グラフと１日で換算された面積算出値を表示します。いずれも、解析開始時間は全区間解析で指定した開始時間と一致します。

「ＨＢＩ」画面でのアイコンの機能

| 番号 | アイコン名称 | 説明 |
|---|---|---|
| ① | 個別印刷 | 「ＨＢＩ」画面を印刷します。 |
| ② | まとめ印刷 | 印刷オプションを選択し印刷します。 |
| ③ | 区間設定 | 読み込んだデータを解析する範囲の条件を定義します。この定義で、全体の解析区間設定と任意に設定された時間領域についてのデータ処理ができます。 |
| ④ | 閉じる | 「ＨＢＩ」画面を閉じます。 |
| ⑤ | 24 時間解析レポート | 「24 時間解析レポートデータ選別」画面へ移動します。 |

「ＨＢＩ」画面右上の[×]をクリックしても画面を閉じることができます。

## 9-6-8 平均値トレンドグラフ

最高血圧、最低血圧、脈拍数、平均血圧の時間の経過とともに変化するトレンドを 1 時間毎の平均値でグラフ表示します。

「平均値トレンドグラフ」画面でのアイコンの機能

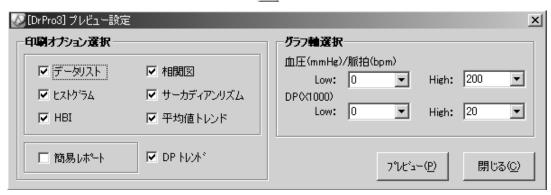
| 番号 | アイコン名称 | 説明 |
|---|---|---|
| ① | 個別印刷 | 「平均値トレンドグラフ」画面を印刷します。 |
| ② | まとめ印刷 | 印刷オプションを選択し印刷します。 |
| ③ | 一覧表示/非表示 | 画面下の測定データ画面の表示/非表示ができます。 |
| ④ | 閉じる | 「平均値トレンドグラフ」画面を閉じます。 |
| ⑤ | カーソル左右移動 | カーソルを移動します。 |
| ⑥ | 24 時間解析レポート | 「24 時間解析レポートデータ選別」画面へ移動します。 |
| ⑦ | 軸設定 | グラフの軸設定を変更します。 |
| ⑧ | グラフ選択 | ボックスをチェックするとグラフを表示し、チェックをはずすとグラフ非表示となります。 |
| ⑨ | 除外データ | 画面下測定データ画面で除外を選択したデータをグラフで表示するかどうかを選択します。 |

「平均値トレンドグラフ」画面右上の[×]をクリックしても画面を閉じることができます。

# 9-7 解析データの印刷

「データアップロード管理」画面で解析データを印刷することができます。

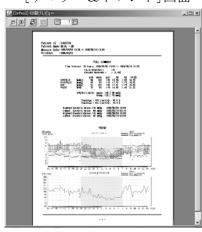
## 9-7-1　印刷プレビューから印刷まで

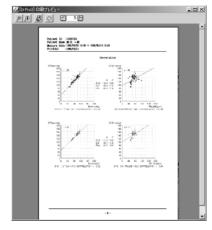
(1)　「データアップロード日」を選択し、 [印刷プレビュー]をクリックします。

(2)　印刷オプションをチェックしてプレビューしたい帳票を選択します。グラフ軸をプルダウンメニューから選択して設定します。

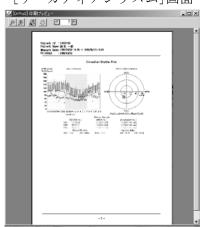
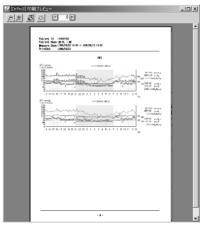
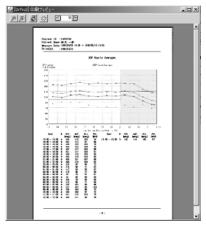
(3)　[プレビュー]をクリックします。

(4)　プレビュー画面が表示されます。

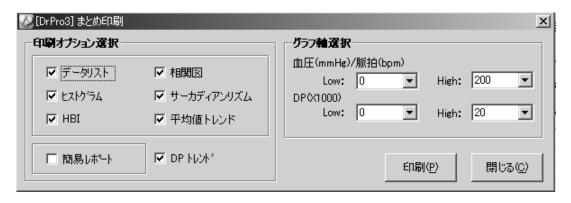
印刷オプションを全部選択した場合

［サマリー＆トレンド］画面

［リスト］画面

［相関図］画面

［ヒストグラム］画面

［サーカディアンリズム］画面

［HBI］画面

［平均トレンド］画面

(5)　[まとめ印刷]をクリックします。
(6)　印刷オプションに変更があれば、「印刷プレビュー」と同様に変更してください。
(7)　[印刷]をクリックします。

## 9-7-2　まとめ印刷（プレビュー画面を見ない場合）

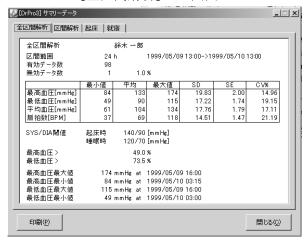
(1)　[まとめ印刷]をクリックします。

(2)　印刷オプションをチェックして印刷する帳票を選択します。グラフ軸をプルダウンメニューから選択して設定します。

(3)　[印刷]をクリックします。

## 9-7-3　各解析画面から印刷する場合

「解析データサマリー」画面での出力

［全区間解析］タブ画面

［印刷］をクリックします。

［区間解析］タブ画面

［印刷］をクリックします。

［起床］タブ画面

［印刷］をクリックします。

［就寝］タブ画面

［印刷］をクリックします。

「トレンドデータ」画面での出力

- ［個別印刷］　⇒　トレンドグラフが印刷されます。
- ［まとめ印刷］　⇒　印刷オプションを選択、グラフ軸を設定し印刷します。

「相関図」画面での出力

- ［個別印刷］　⇒　相関図が印刷されます。
- ［まとめ印刷］　⇒　印刷オプションを選択、グラフ軸を設定し印刷します。

「ヒストグラム」画面での出力

- ［個別印刷］　⇒　ヒストグラムが印刷されます。
- ［まとめ印刷］　⇒　印刷オプションを選択、グラフ軸を設定し印刷します。

「サーカディアンリズム」画面での出力

・［個別印刷］ ⇒ サーカディアンリズムが印刷されます。

・［まとめ印刷］ ⇒ 印刷オプションを選択、グラフ軸を設定し印刷します。

「ＨＢＩ」画面での出力

・［個別印刷］ ⇒ ＨＢＩ解析図が印刷されます。

・［まとめ印刷］ ⇒ 印刷オプションを選択、グラフ軸を設定し印刷します。

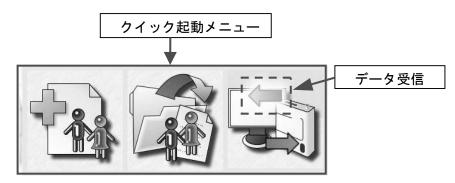
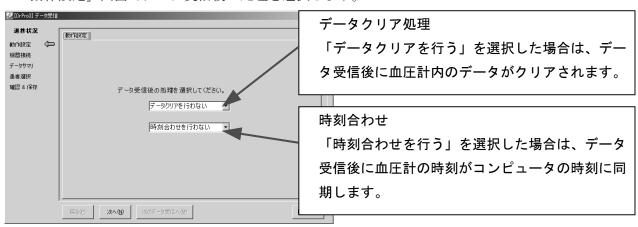
「平均値トレンドグラフ」画面での出力

・［個別印刷］ ⇒ 平均値トレンドグラフが印刷されます。

・［まとめ印刷］ ⇒ 印刷オプションを選択、グラフ軸を設定し印刷します。

# 10.　データ受信

測定データを取り込みます。

(1)　「クイック起動メニュー」の「データ受信」をクリックします。

(2)　「動作設定」画面でデータ受信後の処理を選択します。

［次へ］をクリックします。

(3)　血圧計からのデータ受信が始まります。

## ⚠注意

■ 血圧計とコンピュータの日付時刻に 15 分以上ずれがある場合は、次のようなメッセージが表示されます。
時刻が正しく設定されていないとデータ解析ができない場合があります。

## お知らせ

■ 血圧計とコンピュータの通信中は血圧計の表示が「---」となります。(詳細は血圧計の取扱説明書を参照してください。)

(4)　データ受信が完了すると「接続」画面にメッセージが表示されます。

TM-2431 接続画面　　　UA-767PC 接続画面

「データ受信完了しました。」と表示されます。

［次へ］をクリックします。

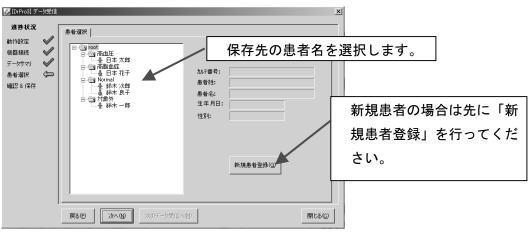
接続に失敗した場合は「リトライ」をクリックして再接続を行ってください。

(5)　受信したデータが表示されます。

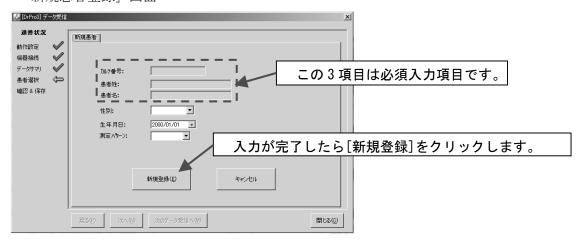
|  | 測定日時 | SYS | DIA | MAP | Pul | DP | イベント | 測定方式 | エラー |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2007/01/15 18:40 | 118 | 72 | 87 | 60 | 7.1 |  | ｵｼﾛ | 0 |
| 2 | 2007/01/17 18:44 | 117 | 80 | 92 | 66 | 7.7 |  | ｵｼﾛ | 0 |
| 3 | 2007/01/19 18:47 | 98 | 81 | 87 | 68 | 6.7 |  | ｵｼﾛ | 0 |
| 4 | 2007/01/22 18:49 | 112 | 72 | 85 | 62 | 6.9 |  | ｵｼﾛ | 0 |
| 5 | 2007/01/24 18:51 | 115 | 74 | 88 | 62 | 7.1 |  | ｵｼﾛ | 0 |
| 6 | 2007/01/26 18:53 | 116 | 67 | 83 | 68 | 7.9 |  | ｵｼﾛ | 0 |
| 7 | 2007/01/29 18:56 | 112 | 72 | 85 | 64 | 7.2 |  | ｵｼﾛ | 0 |
| 8 | 2007/02/05 19:01 | 115 | 73 | 87 | 61 | 7.0 |  | ｵｼﾛ | 0 |
| 9 | 2007/02/07 19:03 | 105 | 68 | 80 | 67 | 7.0 |  | ｵｼﾛ | 0 |
| 10 | 2007/02/09 19:04 | 124 | 111 | 115 | 64 | 7.9 |  | ｵｼﾛ | 0 |
| 11 | 2007/02/12 19:06 | 113 | 84 | 94 | 65 | 7.3 |  | ｵｼﾛ | 0 |
| 12 | 2007/02/14 19:08 | 115 | 69 | 84 | 64 | 7.4 |  | ｵｼﾛ | 0 |
| 13 | 2007/02/21 19:14 | 108 | 70 | 83 | 69 | 7.5 |  | ｵｼﾛ | 0 |
| 14 | 2007/02/26 19:17 | 112 | 64 | 80 | 71 | 8.0 |  | ｵｼﾛ | 0 |
| 15 | 2007/02/28 19:28 | 108 | 69 | 82 | 67 | 7.2 |  | ｵｼﾛ | 0 |
| 16 | 2007/03/02 19:29 | 125 | [illegible] |  |  |  |  |  |  |
| 17 | 2007/03/05 19:31 | 129 | [illegible] |  |  |  |  |  |  |
| 18 | 2007/03/07 19:33 | [illegible] | [illegible] |  |  |  |  |  |  |

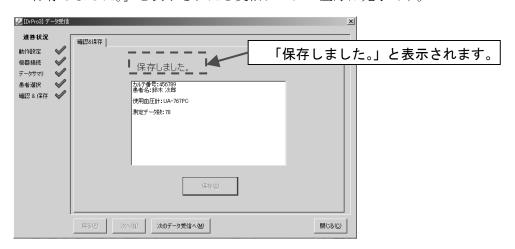
［次へ］をクリックします。

(6)　データの保存先を指定します。

登録されている患者名の中からデータ保存先の患者名を選択します。

［次へ］をクリックします。

・新規患者データの場合は［新規患者登録］をクリックして、「新規患者登録」画面を開き、登録を行います。

「新規患者登録」画面

(7)　登録する患者を確認し、よろしければ［保存］をクリックします、さらに確認画面で[ＯＫ]をクリックします。

(8)　「保存しました。」と表示されたら受信データの登録は完了です。

繰り返してデータ受信する場合は［次のデータ受信へ］をクリックしてください。
終了する場合は［閉じる］をクリックします。

# 11. 設定の送信

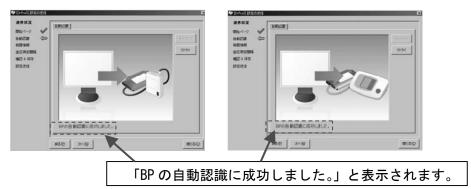
Doctor Pro3 から患者の条件に合わせて血圧計の設定を変更することができます。

## 11-1 患者の選択と血圧計の自動認識

(1)　「クイック起動メニュー」の「設定の送信」をクリックします。

(2)　[次へ]をクリックすると血圧計を自動認識します。

(4)　接続が成功するとメッセージが表示されます。

TM-2431 自動認識画面　　　　UA-767PC 自動認識画面

[次へ] をクリックします。

## 11-2　機器情報と血圧測定間隔の設定

| お知らせ |
|---|
| ■ 「血圧測定間隔」設定画面で設定を行う 3 つのモードの内容は以下のとおりです。<br>モード１：07:00-21:59 までは 15 分毎に測定します。<br>22:00-06:59 までは 30 分毎に測定します。<br>モード２：起床時、就寝時に[AUTO ON/OFF]キーを押し、睡眠中の測定間隔を変更し睡眠区間を区別します。スリープボタン OFF(消灯)で 15 分毎の測定、スリープボタン ON(点灯)で 30 分毎の測定になります。<br>モード３：24 時間を区間に分けることができます。<br>測定モードパターンより選択します。 |

◆血圧計 TM-2431 を接続した場合

「機器情報」設定画面

１．「レコーダーID」を入力します。

２．以下の項目プルダウンメニューから選択します。

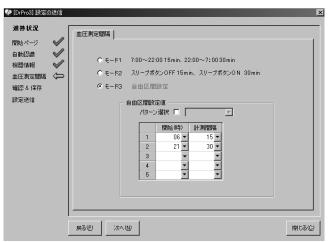
・「カフサイズ」

・「表示設定」

・「データクリア」

・「時刻設定」

［次へ］をクリックします。

「血圧測定間隔」設定画面

［次へ］をクリックします。

血圧測定間隔を「モード１」「モード２」「モード３」から選択します。

「モード３」を選んだ場合は「自由区間設定値」の「開始(時)」と「計測間隔」をプルダウンメニューから選択してください。ある区間測定をしない場合には、「計測間隔」に「OFF」を設定してください。また、「測定パターン設定」にてあらかじめ設定してある計測パターンを使用する場合には、「パターン選択」ボックスにチェックを入れてプルダウンメニューから選択してください。

### ◆血圧計 UA-767PC を接続した場合

「機器情報」設定画面

以下の項目をプルダウンメニューから選択します。

- ・「ブザー設定」
- ・「データクリア」
- ・「時刻設定」

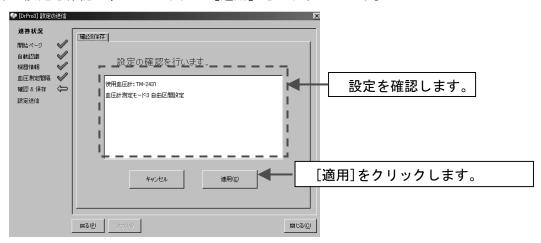
［次へ］をクリックします。

「血圧測定間隔」設定画面

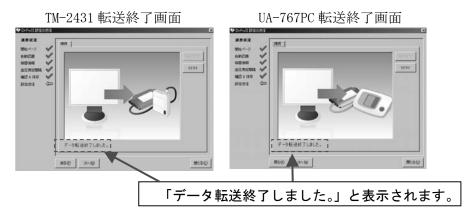
「自由区間設定値」の「開始(時)」、「開始(分)」をプルダウンメニューから選択してください。そのうえで、使用する設定値の「使用」ボックスにチェックを入れてください。また、「測定パターン設定」にてあらかじめ設定してある計測パターンを使用する場合には、「パターン選択」ボックスにチェックを入れてプルダウンメニューから選択してください。

［次へ］をクリックします。

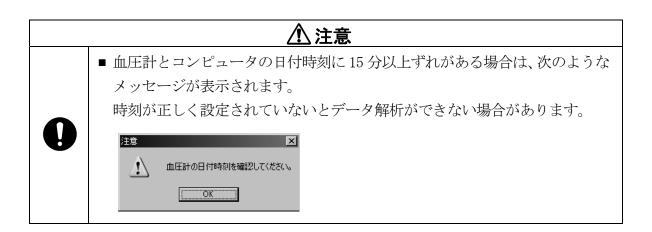
# 11-3 設定の確認とデータ転送

(1)　設定を確認し、よろしければ［適用］をクリックします。

［次へ］をクリックします。

(2)　データの転送を開始します。
転送が終了するとメッセージが表示されます。

TM-2431 転送終了画面　　　UA-767PC 転送終了画面

繰り返して設定送信する場合は［次へ］をクリックしてください。
終了する場合は［閉じる］をクリックします。

**⚠注意**

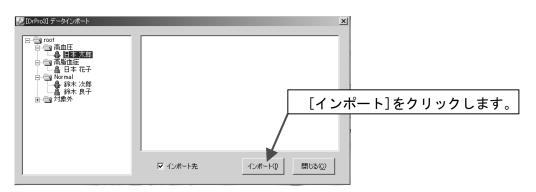
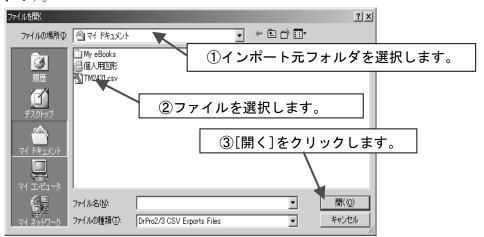
■ 血圧計とコンピュータの日付時刻に 15 分以上ずれがある場合は、次のようなメッセージが表示されます。
時刻が正しく設定されていないとデータ解析ができない場合があります。

# 12. ファイルメニュー

「メイン」画面のファイルメニューではインポート（ファイル取り込み）およびエクスポート（ファイル出力）が行えます。ここでは、DrPro2/3 CSV ファイルおよび DrPro2 DAT ファイルのデータが扱えます。

## 12-1 インポート（ファイル取り込み）手順

(1) メイン画面「ファイル」メニューから「インポート」をクリックします。

(2) 「インポート先」ボックスをチェックすると、インポート先が表示され、選択することができます。

(3) ［インポート］をクリックします。

(4) インポート元フォルダを選択し、ファイルを選択して[開く]をクリックすると、インポートは完了です。

## 12-2 エクスポート（ファイル出力）手順

(1)　メイン画面「ファイル」メニューから「エクスポート」をクリックします。

(2)　エクスポートするデータを検索（検索条件フォルダ名、カルテ番号、患者姓、患者名、検索日付を入力して［検索］をクリック）します。

※「データアップロード管理」画面でエクスポートしたいデータをダブルクリックすると「データエクスポート」画面を表示します。

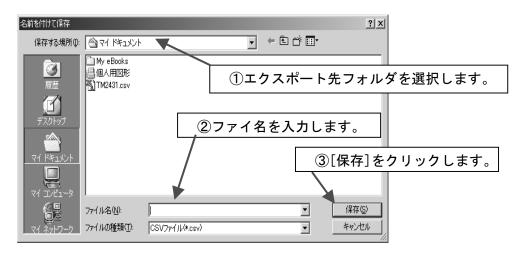
(3)　一覧表示されたデータからエクスポートするデータを選択します。

(4)　以下の項目にチェックを入れます。

・出力ファイル数（データ別にファイル出力／２データをひとつに結合して出力）

・ファイル形式（DrPro3 CSV／DrPro2 CSV／DrPro2 DAT）

(5)　［エクスポート］をクリックします。

(6)　エクスポート先フォルダを選択、ファイル名を入力します。[保存]をクリックするとエクスポートは完了です。

## 12-3 ＤＢ最適化手順

(1)　メイン画面「ファイル」メニューから「ＤＢ最適化」をクリックします。

(2)　データベースの最適化を行います。

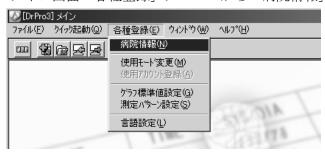
「ＤＢの最適化を実行しますか？」で[ＯＫ]をクリックしたら最適化完了です。

# 13. 各種登録

各種登録メニューには以下の機能があります。

- 病院情報
- 使用モード変更
- 使用アカウント登録
- グラフ標準値設定
- 測定モードパターン設定
- 言語設定

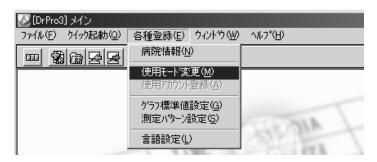
## 13-1 病院情報登録

(1)　メイン画面「各種登録」メニューから「病院情報」をクリックします。

(2)　病院情報の各項目を入力し［登録］をクリックします。

| 記入項目 | 説明 |
|---|---|
| 姓 | 入力します。(最大 30 桁) |
| 名 | 入力します。(最大 30 桁) |
| 病院名 | 入力します。(最大 50 桁) |
| 住所 | 入力します。(最大 50 桁) |
| 電話 | 入力します。0～9、－（ハイフン）（最大 20 桁） |
| E-mail | 入力します。英数字（最大 50 桁） |

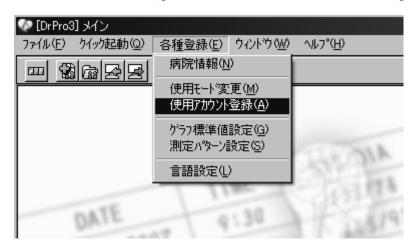
「登録しますか？」で[ＯＫ]をクリックすると病院情報登録は完了です。

## 13-2 使用モード変更

(1)　メイン画面「各種登録」メニューから「使用モード変更」をクリックします。

(2)　シングルアカウントおよびマルチアカウントのどちらかを選択し［登録］をクリックします。

「登録しますか？」で［はい］をクリックすると使用モード変更は完了です。

## 13-3 使用アカウント登録

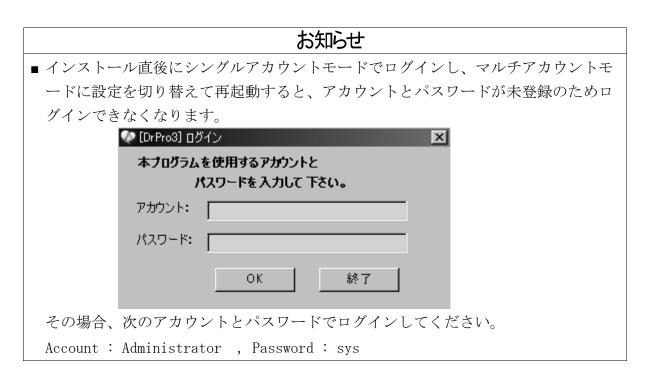
(1)　メイン画面「各種登録」メニューから「使用アカウント登録」をクリックします。

(2)　マルチアカウントの「アカウント名」、「パスワード」を入力、「権限選択」を選択します。
［新規］/［更新］/［削除］をクリックするとそれぞれアカウントを追加/更新/削除します。

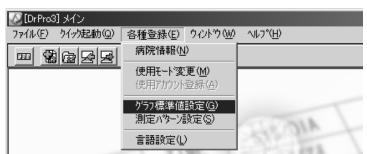
［閉じる］をクリックすると使用アカウント登録は完了です。

## お知らせ

■ インストール直後にシングルアカウントモードでログインし、マルチアカウントモードに設定を切り替えて再起動すると、アカウントとパスワードが未登録のためログインできなくなります。



その場合、次のアカウントとパスワードでログインしてください。
Account ： Administrator　, Password ： sys

# 13-4 グラフ標準値設定

(1)　メイン画面「各種登録」メニューから「グラフ標準値設定」をクリックします。

(2)　グラフ標準値の各項目を入力し［登録］をクリックします。

| 記入項目 | 説明 |
|---|---|
| グラフ軸設定　血圧 Low | プルダウンメニューから選択します。 |
| 血圧 High | プルダウンメニューから選択します。 |
| 脈拍 Low | プルダウンメニューから選択します。 |
| 脈拍 High | プルダウンメニューから選択します。 |
| DP　Low | プルダウンメニューから選択します。 |
| DP　High | プルダウンメニューから選択します。 |
| 時間軸（短期） | プルダウンメニューから選択します。(TM-2431 用) |
| 時間軸（長期） | プルダウンメニューから選択します。(UA-767PC 用) |
| 血圧解析パラメータ　優先表示 | プルダウンメニューから選択します。 |
| ハイパーバリック閾値起床期間最高血圧 | 入力します。 |
| ハイパーバリック閾値起床期間最低血圧 | 入力します。 |
| ハイパーバリック閾値睡眠期間最高血圧 | 入力します。 |
| ハイパーバリック閾値睡眠期間最低血圧 | 入力します。 |
| ハイポバリック閾値起床期間最高血圧 | 入力します。 |
| ハイポバリック閾値起床期間最低血圧 | 入力します。 |
| ハイポバリック閾値睡眠期間最高血圧 | 入力します。 |
| ハイポバリック閾値睡眠期間最低血圧 | 入力します。 |

「登録しますか？」で[ＯＫ]をクリックするとグラフ標準値設定は完了です。

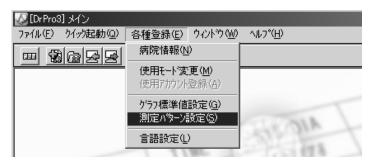
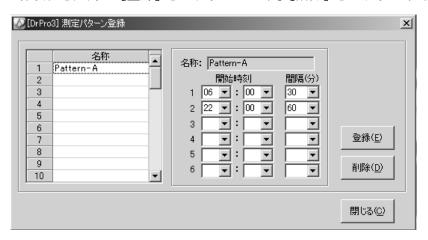
※ハイパーバリック閾値とは？

・　起床時、睡眠時に指定した最高血圧、最低血圧の閾値を上回ったデータの占めるパーセント値を算出し、サマリーデータに表示、レポートに印刷します。
・　ＨＢＩ解析時の閾値として使用します。

※ハイポバリック閾値とは？

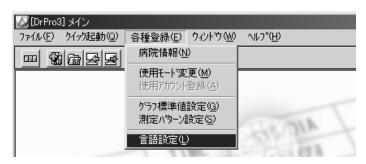
・　起床時、睡眠時に指定した最高血圧、最低血圧の閾値を下回ったデータの占めるパーセント値を算出し、サマリーデータに表示、レポートに印刷します。
・　ＨＢＩ解析時の閾値として使用します。

# 13-5 測定パターン設定

(1)　メイン画面「各種登録」メニューから「測定パターン設定」をクリックします。

(2)　各項目を入力し［登録］をクリックします。［削除］をクリックすると該当する設定を削除します。

| 記入項目 | 説明 |
|---|---|
| 名称 | 入力します。 |
| 開始時刻　時間 | プルダウンメニューから選択します。 |
| 開始時刻　分 | プルダウンメニューから選択します。 |
| 間隔（分） | プルダウンメニューから選択します。 |

「登録しますか？」で［ＯＫ］をクリックすると測定モードパターン設定は完了です。

## 13-6　言語設定

(1)　メイン画面「各種登録」メニューから「言語設定」をクリックします。

(2)　「言語設定」画面で使用する言語のボタンにチェックを入れます。

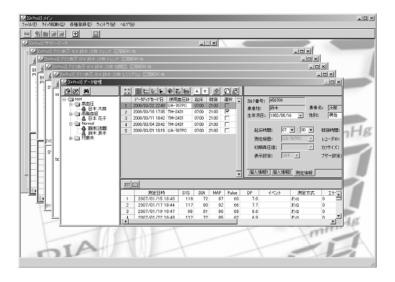
［ＯＫ］をクリックすると言語設定は完了です。

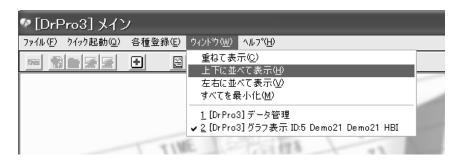
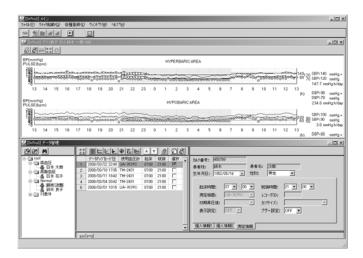
# 14. ウィンドウメニュー

ウィンドウメニューには以下の機能があります。

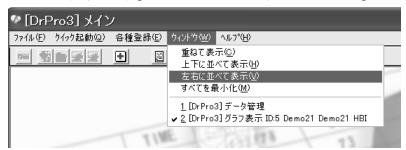
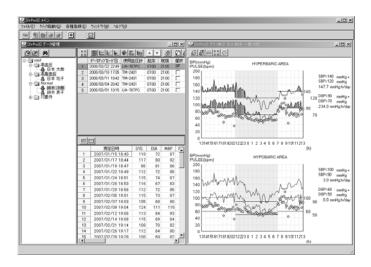
## 14-1 重ねて表示

メイン画面「ウィンドウ」メニューから「重ねて表示」をクリックします。

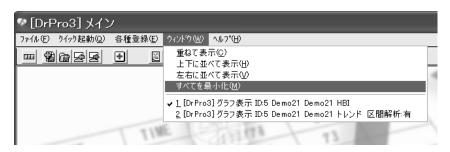
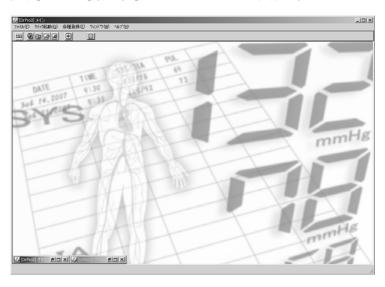
ウィンドウが重ねて表示されます。

## 14-2 上下に並べて表示

メイン画面「ウィンドウ」メニューから「上下に並べて表示」をクリックします。

ウィンドウが上下に並べて表示されます。

※ ウィンドウを３つ以上表示した場合は、上下・左右に並べて表示は同じ表示となります。

## 14-3　左右に並べて表示

メイン画面「ウィンドウ」メニューから「左右に並べて表示」をクリックします。

ウィンドウが左右に並べて表示されます。

※ ウィンドウを３つ以上表示した場合は、上下・左右に並べて表示は同じ表示となります。

## 14-4　すべてを最小化

メイン画面「ウィンドウ」メニューから「すべてを最小化」をクリックします。

最小化されたウィンドウは、ダブルクリックすると元のサイズに戻ります。ウィンドウに[元のサイズに戻す]または[最大化]が表示されている場合は、選択クリックします。

# 15. 保守

ウィンドウメニューには以下のサブメニューがあります。

## 15-1　エラーコード表

### 15-1-1 TM-2431 シリーズ・エラーコード

リストデータ中に表示されるエラーおよび血圧計が表示するエラーの一覧を以下に示します。

| エラーコード | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| E00 | 時計パラメータ未設定。 | 時計パラメータを設定します。 |
| E03 | カフが加圧されないで、エラーを表示した。 | カフにたまっている空気を完全に抜きます。 |
| E04 | 電池消耗による測定中断。 | 新しい電池に交換します。自動測定モードは解除されています。もう一度自動測定を開始してください。 |
| E05 | 加圧不良。<br>目標圧力まで加圧できない。 | カフの接続を確認し、カフを巻き直します。<br>エラーが続く場合は、本体の異常が考えられ修理が必要です。 |
| E06 | 加圧が 320mmHg 以上になった。 | 測定中、安静にして身体を動かさないようにします。<br>エラーが続く場合は、本体の異常が考えられ修理が必要です。 |
| E07 | [スタート ストップ]キーによる測定中断。 | 測定中、必要でない限り[スタート ストップ]キーを押さないようにします。 |
| E08、E10 | 脈拍が検出できない。 | 測定中、安静にして身体を動かさないようにします。 |
| E20 | 一分間の検出脈拍が 35 以下または 200 以上 | 別の測定法で血圧を測ります。 |
| E21 | 最低血圧が 160mmHg 以上、40mmHg 以下。 | 別の測定法で血圧を測ります。 |
| E22 | 最高血圧が 280mmHg 以上、60mmHg 以下。 | 別の測定法で血圧を測ります。 |
| E23 | 最高血圧と最低血圧の差が 10mmHg 以下、150mmHg 以上。 | 別の測定法で血圧を測ります |
| E30、E31 | カフの空気漏れ。 | 修理が必要です。 |
| E32 | 時計エラー | エラーが続く場合は、修理が必要です。 |
| E50 | 脈拍オフセットエラー | 修理が必要です。 |
| E52 | メモリエラー | 修理が必要です。 |
| E53 | 電池接続不良 | 電池を正しく入れ直します。エラーが続く場合は、修理が必要です。 |
| E55、E56、E57 | 排気エラー | 測定中、安静にして身体を動かさないようにします。<br>エラーが頻繁に起こる場合は、修理が必要です。 |
| E60 | 測定間隔設定エラー | 測定間隔を正しく入力します。 |
| E70、E71、E72、E73 | RS-232C エラー | 通信ケーブルを接続し直します。エラーが続く場合は、修理が必要です。 |
| E74 | 通信中の電圧降下 | 新しい電池に交換して、通信を再開します。 |
| E75 | 外部装置によるプロトコルエラー | 通信ケーブルを接続し直します。エラーが続く場合は、修理が必要です。 |

### 15-1-2 ラベル表示のガイダンスメッセージ

「データ受信/送信」画面下にラベル表示されるガイダンスメッセージの一覧を以下に示します。

・データ受信時エラーメッセージ

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>″RS232 初期化失敗しました。″</td><td rowspan="7">・血圧計との通信ケーブルの接続を確認してください。<br>・USB ドライバが正常に動作しているか確認してください。<br>・ケーブルをすべて一旦はずして、Doctor Pro のソフトウェアを再起動してください。</td></tr>
<tr><td>″BP の自動認識に失敗しました。″</td></tr>
<tr><td>″データ受信に失敗しました。″</td></tr>
<tr><td>″測定条件の読出しに失敗しました。″</td></tr>
<tr><td>″測定データの取込に失敗しました。″</td></tr>
<tr><td>″測定データの消去に失敗しました。″</td></tr>
<tr><td>″時刻設定に失敗しました。″</td></tr>
</table>

・データ送信時エラーメッセージ

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>″RS232 初期化失敗しました。″</td><td rowspan="7">・血圧計との通信ケーブルの接続を確認してください。<br>・USB ドライバが正常に動作しているか確認してください。<br>・ケーブルをすべて一旦はずして、Doctor Pro のソフトウェアを再起動してください。</td></tr>
<tr><td>″BP の自動認識に失敗しました。″</td></tr>
<tr><td>″データ転送に失敗しました。″</td></tr>
<tr><td>″測定データの消去に失敗しました。″</td></tr>
<tr><td>″測定条件の消去に失敗しました。″</td></tr>
<tr><td>″測定条件の設定に失敗しました。″</td></tr>
<tr><td>″時刻設定に失敗しました。″</td></tr>
<tr><td>″現在接続されている血圧計は、自動認識時と異なります。″</td><td>・自動認識したときの血圧計に戻してください。<br>・「キャンセル」をクリックするか、ソフトウェアを再起動してください。</td></tr>
</table>

## 15-2　工場出荷時の設定

工場出荷時の設定は以下の通りです。

## 15-3　廃棄

本製品の廃棄およびリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

# 16. アフターサービス

## 16-1　製品に関するご質問・ご相談窓口

■当社ＭＥ機器相談センターにお申し付けください。

## 16-2　免責事項

下記の記載内容については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

１．当社、または当社が指定した業者以外による保守、および修理に基づく故障・損傷

２．この取扱説明書に記載されている安全上の注意や操作方法を守らなかった結果による故障・損傷

３．この取扱説明書に記載されているソフトウェア使用許諾契約書に記載されている条件の逸脱による故障・損傷

４．当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・損傷。

５．製品を改造あるいは、不当な修理をされた結果に基づく故障・損傷。

６．転倒、操作上のミスなど使用者の責任とみなされるもの。

７．火災、地震、水害、落雷など天災による故障・損傷。